第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	1	人権尊重・平和・多文化共生	

目指すまちの姿	
	誰もがかけがえのない存在として、一人ひとりの人権を尊重し合うことができるまち
	性別や年齢、国籍等を問わず、市民一人ひとりがそれぞれ個性と能力を発揮しながら、お互いを認め合い、共に暮らすことができ、活躍することができる人権尊重・平和・多文化共生のまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
人権問題に関して理解が深まった人の割合	83.0%	88.0%	人権に関する講座・講演会等の参加者のアンケート結果の平均値

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	
実績	87.0										
達成率	104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	A										

主な取組

①人権尊重の推進

◇市民や企業に対する人権に関する啓発活動の実施や、指導者の養成、情報収集・提供の充実を推進します。
◇人権に関わる相談窓口や人権救済・保護に係る仕組の充実や、関係機関との連携強化を図ります。
◇児童生徒が人権の意義や内容、重要性を理解できるよう、教職員への研修等を通じた人権教育・人権保育の向上を図ります。
◇「泉南市子どもの権利に関する条例」に基づき、関係機関の連携による子どもの権利擁護をはじめとした施策や虐待防止等の取組を推進します。

②恒久平和の理念の継承

◇非核平和の集い・8月の非核平和月間等、市民に対する恒久平和の理念の啓発を行います。
◇戦争の惨禍や悲惨さを伝えることにより、戦争を知らない世代へ生命の大切さや平和の尊さを学ぶ機会を提供します。

③多文化共生の推進

◇市役所や公共施設における外国人相談窓口の充実や、外国人住民の地域活動参加促進のための多言語による情報提供を行います。
◇国際交流組織の育成・支援や外国人留学生のホームステイ促進等、国際交流に関わる取組の充実を図ります。
◇国際化への意識啓発や国際理解教育を推進します。

掲載事業一覧 【所管部局】

1-1-①　人権啓発事業 【行政経営部】

1-1-①　総合相談事業 【行政経営部】

1-1-①　地域共生のまちづくり推進事業 【行政経営部】

1-1-①　教職員人権教育事業 【教育部】

1-1-①　人権教育推進事業 【教育部】

1-1-①　子どもの権利に関する条例推進事業【教育部】

1-1-②　平和事業 【行政経営部】

1-1-③　国際化推進事業 【行政経営部】

1-1-③　JETプログラム事業 【教育部】

所管部局評価

【行政経営部】
取組①
各種研修や講演会、集いを通じて、指標の目標値を上回り達成しているが、参加者の理解が深まるのと合わせて、市民・関係団体と連携を図りつつ、多くの市民の方々に参加してもらい目標値達成に努める。

取組②
非核平和の集いやDVDで上映等、継続した事業を行うことで、引き続き平和意識の醸成に努める。

取組③
外国人市民に対する職員対応として、英会話研修をトライアルで実施し、外国人対応窓口の充実を目指した。また、フィリピン・ダバオ市との本市初の海外姉妹都市協定の締結や2025年の大阪・関西万博に向けての取組を契機として引き続き多文化共生に向けた取組を推進していく。

【教育部】
取組①
教職員向けの人権教育研修や各校園に対する指導助言を通して、個別人権課題に関する知識理解を深め、専門学習の進め方を習得することができた。各校園での子どもの権利学習についても、発達年齢に応じてさまざまな工夫をしながら取組を実施することができた。引き続き好事例等を市内に広めることで充実させていく。

取組③
ALTを活用した授業を年間を通して14小中学校で実施することができた。ALT同士がお互いに学びあい、自分の授業づくりにいかす研修を実施できた。CIRの国際交流活動は年間で300回以上実施し、参加者の90%以上が内容に満足したという結果が出ているので、引き続き充実させていく。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　① 人権尊重の推進

事務事業名	人権啓発事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
市民との協働のもと、様々な人権課題について啓発活動を推進することにより、市民の人権意識の高揚をはかり、もってすべての人の人権が尊重される社会の実現をめざす。

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	04-人権啓発事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン						

施策に関する成果指標

指標名	人権問題に関して理解が深まった人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	%	
	実績	87.0											
	達成率	104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 人権啓発事業 ①「市民の集い」における街頭啓発実施(4駅2回)、ティッシュ配布2000個×2回＝4000個 ②憲法週間「市民の集い」の実施(参加者130人)、アンケート回収率71%(92人) ③人権週間「市民の集い」の実施(参加者363人、アンケート回収率71%(257人) ④人権啓発リーダー養成講座の実施(2回、延べ36人参加) ⑤ヒューマンライツセミナーの実施（2回、延べ40人参加） ⑥各校区の集い（参加者合計3,879人） ・信達校区（610人）、雄信校区（179人）、樽井校区（632人）、東校区（147人）、西信達校区（344人）、砂川校区（547人）、一丘校区(232人)、新家校区(488人)、鳴滝校区(中止)、泉南中校区(486人)、信達中校区(214人)

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

事業の財源				
決算額	2,920千円	国庫支出金	0千円
		府支出金	86千円
		市債	0千円
		その他	0千円
決算書ページ	173ページ	一般財源	2,834千円

職員数/人件費					
正職員	1.82人	正職員以外のその他職員	0.00人	14,154千円

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
Check 3	ここ数年コロナ禍により、これまでと同様の啓発活動ができていなかったが、令和5年度についてはほぼ予定通り活動を実施することができた。(鳴滝校区についてはインフルエンザのため急遽中止。)ただ、市民の集いについては大会場での実施となるため、まだ参加控えの傾向が見られたが、会場運営については、客席の距離を保つ等配慮は継続して行った。駅頭啓発はコロナ禍以降初めて実施したが、予想以上に啓発物品（ティッシュ）を手に取ってもらえ、その結果集いに参加してくれたという人もあった。(参加者アンケートより)校区人権協については、長年鳴滝校区の組織がなかったが、令和5年度ようやく設立することができたのは、大きな成果である。また、校区の集いについては、小学校だけでなく中学校区での取組も追加し、今後小中学校再編に向けた地域間同士の交流が持てる機会をつくった。ただ、地域住民・PTAの参加が少ない校区もあり、まず参加してもらえるような工夫を検討する必要がある。	＜改善内容＞ 市民の集いについては、昨年度映画上映を行ったが、令和6年度については、できるだけ若い世代にも参加してもらえるよう、様々な手法による企画内容を検討するとともに、広報についてもSNSを活用するなど、これまで以上に積極的に行う。 また、校区の集いについては、地域住民・PTAの参加を増やすため、学校にも協力していただき、例えば参観日に集いの日程を合わせるなど、市民が参加しやすい時期を調整するとともに、テーマについても学校・PTAと協力しながら検討していく。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持	○	小学校区の集いについては、子育て世代のPTAが参加しやすい機会となるよう、引き続き参観日に集いの日程を合わせる等、市民が参加しやすい日程・テーマについて検討していく。また、中学校区の集いについては全中学校で実施できるよう、校区人権協・学校・PTAと相談しながら、限られた予算・人員の中において、啓発事業が実施できるよう検討する。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　① 人権尊重の推進

事務事業名	総合相談事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 人権相談、地域就労支援、進路選択支援、生活相談など市民が一人で悩まず相談できる体制を整備するとともに、相談を通じて人権課題の現状を把握する。		10 16

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	09-総合相談事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン						

施策に関する成果指標

指標名	人権問題に関して理解が深まった人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	%	
	実績	87.0											
	達成率	104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 人権相談所の開設日数：244日 2. 相談件数：人権相談12件、地域就労支援217件、進路選択支援8件、生活相談240件 3. 積極的な働きかけによる相談 ①アウトリーチ：1件＜地域において、相談できずにいる対象者を発見し、相談員から積極的に働きかけ、その課題を確認し対応すること＞ ②ケース検討会議：29件＜対象者の抱える課題への対応策に関し、関係機関を集めて当該ケースへの対応方針を検討するための会議＞ ③フォローアップ：0件＜一旦「既相談者」に相談員からの働きかけで電話や訪問などによりその後、課題の改善がみられなかったため、改めて当該課題の解決に向けた相談対応を行うこと＞ ④寄り添い：26件＜解決し難い事案について、相談員等が一緒になって関係機関へ出向き相談対応すること＞ ⑤出張相談：5件＜相談者の状況により、来所が困難である場合に、相談員等が相談者の自宅等に出向いて相談対応すること＞				
事業の財源	決算額	国庫支出金	0千円		
	10,230千円	府支出金	6,363千円		
		市債	0千円		
		その他	0千円		
	決算書ページ　174ページ	一般財源	3,867千円		
職員数/人件費	正職員　0.24人	正職員以外のその他職員　0.00人	1,866千円		

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 相談件数については、令和4年度と比較して若干減少しているが、「積極的な働きかけによる相談」ついては、大幅に増加した。相談の周知についても、連絡先を記載したチラシや啓発物品をポスティングしているが、さらなる工夫が必要と考える。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 行政・地域NPOと連携し、相談ニーズが高いと予想される対象者への働きかけを積極的にするとともに、受け身の相談機関にならないよう、様々な機関と連携を図るよう努める。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
				1 現状維持 ○	相談件数が減少すると、大阪府からの交付金の減額が予想される。丁寧な相談窓口の広報活動による相談件数の増加を見込むとともに、「積極的な働きかけによる相談」にも取り組むことで、安定した事業の継続を図る。その結果、地域住民の困りごとを総合的に対応できる事業とする。	
				2 見直して継続		
				重点化		
				手段改善		
				効率化（コストダウン）		
				規模縮小		
				事業統合		
				3 休止・廃止		
				4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　① 人権尊重の推進

事務事業名	地域共生のまちづくり推進事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 子どもの権利を基盤に子どもの話を聴き、子どもに寄り添うおとな「ゆうてみぃサポーター」を養成する。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	15-地域共生のまちづくり推進事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市子どもの権利に関する条例、泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、泉南市人権行政推進プラン						

施策に関する成果指標

指標名	ゆうてみぃ(YOU TO ME)サポーターとして登録した人の数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年を養成の最終年度とする
	目標	40	50									人	
	実績	43											
	達成率	107.5%	0.0%										
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	ゆうてみぃ(YOU TO ME)サポーター養成研修の実施 前期　6月～7月にかけての5回連続研修 延べ参加者数　65名 サポーター登録者　3名 後期　1月～2月にかけての4回連続研修 延べ参加者数　38名 サポーター登録者　5名 ゆうてみぃ(YOU TO ME)サポーターの活動 11月　市民交流センターまつりにおいて、子どもの権利かるたコーナーを設置 ゆうてみぃ(YOU TO ME)サポーター参加者　10名 かるた参加者約60名			
事業の財源	決算額 332千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	332千円	
	決算書ページ 175ページ	一般財源	0千円	
職員数/人件費	正職員 0.12人	正職員以外のその他職員 0.16人	1,454千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和4年度までは、別に教職員対象の研修を実施していたが、令和5年度からは、教職員も市民も同じ研修で、市民対象の研修と同じ研修とした。ワークショップでは、学校や就学前施設職員と、市民が意見を出し合う場があり、それぞれに学びがあった。 研修も4年目となり、新しい参加者を探すのが難しくなっている。参加者の中には、市内の子どもたちに関わり、活動をしている人もいる。まだまだ関心を持っている市民が、他にも存在するため研修を広く周知していく。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ 子ども食堂、放課後ディサービス、就学前の遊び場スタッフ等、子どもに関わる仕事をしている方に、広報を行い、参加を呼びかける。 市の職員研修としての位置づけを行う。 学校教職員への参加を呼びかける。 ゆうてみぃサポーターとして登録したスタッフが、それぞれの思いを出し合い、子どもの現状や活動を考える企画会議を実施する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
		1 現状維持	○	ゆうてみぃサポーターとしての登録者が、目標の50名を達成する予定なので、養成のための研修は、令和6年度で終了とする。今後は、登録者が、具体的に子どもに関わり、子どもの声を受け止める役割が担えるよう、市内各所にある子どもの居場所への参加や、イベントへの参加等を考えるとともに、それぞれの疑問や感じていることを話し合うネットワークを構築し、子どもを見守る人の輪を充実させていく。	
		2 見直して継続			
		重点化			
		手段改善			
		効率化（コストダウン）			
		規模縮小			
		事業統合			
		3 休止・廃止			
		4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　① 人権尊重の推進

事務事業名	教職員人権教育事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高められるよう、教職員を対象として研修を実施する。		4 質の高い教育をみんなに　10 人や国の不平等をなくそう

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権国際教育課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	5
ハード			細目	02-教職員人権教育事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、教育振興基本計画						

施策に関する成果指標

指標名	人権教育指導者育成講座・人権保育教育講座参加者の満足度（5段階評価）											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
	実績	4.5											
	達成率	112.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	教職員等が人権課題について正しく認識し、人権感覚を高められるよう、教職員を対象として研修を実施する。 ・人権教育指導者育成講座の実施（7/26実施　145人参加） ・人権保育教育講座（1/5実施　26人参加　） ・初任者人権研修（6/15実施　55人参加　） ・人権保育担当者会（年間2回） ・人権教育担当者会（年間2回） ・人権教育に関するヒアリング（年間2回・16校園）			
事業の財源	決算額 1,245千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 288ページ	一般財源	1,245千円	
職員数/人件費	正職員 0.66人	正職員以外のその他職員 0.00人	5,133千円	

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 主催した研修については、概ね高評価を受けており、個別人権課題に係る人権意識の涵養（かんよう）につながった。 今後もすべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、一人ひとりの人権尊重の精神の涵養（かんよう）を図ることが不可欠であり、人権教育・啓発を継続して実施する必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		＜改善内容＞ 「人権教育の指導方法等の在り方について［第三次とりまとめ］（平成20年3月文部科学省）」で求められている三側面※や、個別人権課題に関する学習をバランスよく配置することが求められている。毎年度各校園で総括をしていく中で、三側面のバランスを考えた取組の実施が進んできているが、引き続き指導助言を行うことで各校園に意識をしてもらい取組の充実につなげていく。 ※「三側面」とは知識的側面（人権の歴史、意義・重要性を知識として知ること）、価値態度的側面（知識を意欲や行動に結びつけるための価値や態度の育成を図ること）、技能的側面（人権問題を感じ取り、合理的・分析的に考えて他者へ伝える技能の育成を図ること）で、これらを全面的・調和的に発達させるように働きかけ、促進することが、人権教育の具体的な課題となる。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持 ○	令和5年度に改訂した人権保育・教育推進プランに基づき、人権教育指導者育成講座、人権保育教育講座を実施するとともに、各校園での教職員研修での指導助言を行う。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　① 人権尊重の推進

事務事業名	人権教育推進事業	事業に関連するSDGs
各学校園において、児童生徒・保護者・保育士教職員・市民に対して人権保育・人権教育・キャリア教育推進のための学習活動や研修会を行う支援を行う。		4 10 16

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権国際教育課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	5
ハード			細目	03-人権教育推進事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画						

施策に関する成果指標

指標名	子どもの権利について知っている児童生徒の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	%	
	実績	31											
	達成率	44.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	C											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	○人権保育・人権教育に関する 学習活動（研修会）の実施回数　13回 ○キャリア教育に関する 学習活動（研修会）の実施回数　18回			
事業の財源	決算額 837千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 288ページ	一般財源	837千円	
職員数/人件費	正職員 0.92人	正職員以外のその他職員 0.00人	7,155千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和4年度まではコロナ禍の状況が続いていたため、なかなか各学校園での出会い学習や校内研修を大人数で実施しにくい状況だったが、少しずつコロナ前に行われていた形式の学習会や研修会を実施できるようになった。引き続き、様々な学校園で子どもたちの人権保育・人権教育・キャリア教育に関する学習活動や研修会を実施できるように、さまざまな講師を探していく必要がある。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 学校園のニーズに合わせた講師に来てもらうことができるよう、必要な情報の共有に努める。 子どもがより主体的に参加し、自らの意見を表明できる場の設定を行う。また、行政各課とも協力し、子どもの声をまちづくりにいかす仕組としてさらに取組を発展させていく。 また、子どもの権利についての認知度の向上を目指し、各校園所への指導助言を積極的に行うと共に、教職員研修・保護者研修の充実を図る。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
			事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持		学校園のニーズに合わせた講師に来てもらうことができるよう、必要な情報の共有に努める。 「せんなん子ども会議」において、子どもが発案し市長に報告した施策の実現支援を行政各課と連携して行う。 また、「せんなん子ども会議」の活動内容を、子どもの権利に係る教職員研修や保護者研修において広く周知する。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合	○		
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1　『ひと』を育てる・輝かせる	
○ 施策　1　人権尊重・平和・多文化共生	
○ 主な取組　①　人権尊重の推進	
事務事業名　子どもの権利に関する条例推進事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 泉南市子どもの権利に関する条例に基づき、条例の目的である「子どもにやさしいまち」の実現のための事業を推進する。	

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権国際教育課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	5
ハード			細目	04-子どもの権利に関する条例推進事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例, 泉南市人権行政基本方針, 人権教育基本方針, 人権保育基本方針, 泉南市子どもの権利に関する条例, 教育振興基本計画						

施策に関する成果指標

指標名	子どもの権利について知っている児童生徒の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	70										%	
	実績	31											
	達成率	44.3%											
	達成度	C											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	○泉南市子どもの権利に関する条例第5条「せんなん子ども会議」の運営支援 ・「泉南子ども会議」の実施（全10回　延べ　157人参加） ・市長報告の実施（3/9実施　15人参加） ・ニュースレターの発行（11回発行） ○泉南市子どもの権利に関する条例第8条「子どもの権利に関する学習と教育」の充実 ・11月20日「泉南市子どもの権利の日」の取組の実施 ・教職員研修の実施（6/14実施　55人参加） ・保護者研修の実施（4回実施　延べ44名参加）				
事業の財源	決算額 834千円	国庫支出金	0千円		
		府支出金	0千円		
		市債	0千円		
		その他	119千円		
	決算書ページ 289ページ	一般財源	715千円		
職員数/人件費	正職員 0.92人	正職員以外のその他職員 0.00人	7,155千円		

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 5月から毎月1回子ども会議を実施し、「こどもにやさしいまち」を目指して自分たちが取り組みたいことを出し合い、活動内容を決めて活動してきた。令和5年度はタルイサザンビーチの海岸清掃を行い、参加者からのアンケートからも高評価があった。 学校園所で「泉南市子どもの権利の日」の取組を実施し、子どもの権利の4つの原則について学ぶとともに、学校の中で子どもの意見表明と参加を意識した日常的な活動が行われた。 また、学校園に「泉南市子どもの権利の日」のアンケートをとり、各学校園の取組をとりまとめ、冊子にして配布した。 一方でチラシや懸垂幕等を用いて条例や子ども会議の啓発を行ったが、子どもの権利についての認知度の向上につながらなかった。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 子どもがより主体的に参加し、自らの意見を表明できる場の設定を行う。また、行政各課とも協力し、子どもの声をまちづくりにいかす仕組としてさらに取組を発展させていく。 また、子どもの権利についての認知度の向上を目指し、各校園所への指導助言を積極的に行うとともに、教職員研修・保護者研修の充実を図る。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 ○ 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 「せんなん子ども会議」において、子どもが発案し市長に報告した施策の実現の支援を行政各課と連携して行う。 また、「せんなん子ども会議」の活動内容を、子どもの権利に係る教職員研修や保護者研修において広く周知する。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　② 恒久平和の理念の継承

事務事業名	平和事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 非核平和都市宣言都市として、世界の恒久平和の実現をめざし、市民一人ひとりが「平和の尊さ」についての意識向上をめざす。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	06-平和事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				

施策に関する成果指標

指標名	人権問題に関して理解が深まった人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	%	
	実績	87.0											
	達成率	104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	・「非核平和の集い」の実施 映画「この世界の片隅に」上映(参加者177人)、アンケート回収率87%(154人) ・本庁ロビーにて非核平和のビデオ上映(8/1～8/15) ・市役所の壁面に懸垂幕、のぼりの掲示(8/1～8/31)			
事業の財源	決算額 270千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 173ページ	一般財源	270千円	
職員数/人件費	正職員 0.12人	正職員以外のその他職員 0.16人	1,454千円	

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 戦争は、今まさに世界で起きている現状において、過去の話ではないということを、若い世代にも分かっていただくため、若い世代にも参加していただけるような内容を検討した。結果、アニメ作品を上映することで、子どもと一緒に参加する保護者も多く、例年より若い世代の参加者増加につながった。 戦争を実際に経験した人が少なくなり、戦争体験を生の声で伝えることが困難となる中、平和の尊さや命の大切さについて、若い世代へどのように語り継いでいくかのさらなる検討が必要である。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 非核平和の集いについては、まだまだ多くの参加者に来ていただけるよう、内容の検討や周知も早くから行うような工夫をする。今年度の集いについては、戦争時代の保育園疎開をテーマとした映画を上映し、周知についても若い世代の参加につながるような広報を行う。 また集いだけでなく、市民が平和を考える新たな取組の検討も行う。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 市内2か所（市役所・図書館）に設置している非核平和都市宣言のモニュメントが劣化している。 平和のシンボルでもあり、市民からの意見もあって、劣化部分の塗り替えなど修理を行い、さらなる平和事業の強化を行う。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　③ 多文化共生の推進

事務事業名	国際化推進事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 関西国際空港を有する自治体として、今後のインバウンド増加や国際化へ対応すべく、姉妹都市との連携による市内でのイベントや学校園での交流等、国際交流の機会の創出することで多文化共生のまちづくりを行う。		4 10 16

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	政策推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	9
ハード			細目	17-国際化推進事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市自治基本条例、泉南市国際化ビジョン						

施策に関する成果指標

指標名	国際交流実績数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	交流実績（両市双方の関わりがあるもの） ①調印式後のビジネスツーリズムフォーラム ②オンライン交流会
	目標	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	回	
	実績	2											
	達成率	200.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	令和5年4月25日フィリピン・ダバオ市使節団の受入れ、調印式及びビジネスツーリズムフォーラムを開催した。調印式にはダバオ使節団28名/ダバオ市行政13名/フィリピン領事館6名/泉南市側来賓国会議員等8名にご出席いただき、ビジネスツーリズムフォーラムについては、ダバオ市6社/泉南市17社の民間企業が参加した。 ①市内各小中学校でのオンライン交流の実施※ 小学校6校、中学校2校　計8校　（延べ参加人数365人） ②フィリピン料理風学校給食の提供 ③万博と関連したイベントの実施※（在大阪フィリピン領事館連携） ④姉妹都市ダバオへの渡航（令和5年8月16日-20日）（令和6年2月13日-17日※） ⑤庁内英会話研修のトライアル実施（計4回） ⑥情報発信として市勢要覧の英語版の作成 ※印は万博推進事業で実施した内容			
事業の財源	決算額 5,664千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	5,664千円	
	決算書ページ 166ページ	一般財源	0千円	
職員数/人件費	正職員 0.35人	正職員以外のその他職員 0.00人	2,722千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和5年度において、本市では初めての海外姉妹都市協定の締結に至った。また、フィリピン・ダバオ市との姉妹都市協定をきっかけにあらゆる関係機関（フィリピン大使館及び領事館、現地学校、関連企業など）と連絡や情報共有を行うようになり、国際化事業を進めるうえでのネットワークの構築につながった。 姉妹都市協定締結以降は、大阪・関西万博の開催2年前ということもあり、万博に向けての機運醸成として本市独自の取組を実施したことにより、フィリピン・ダバオ市と姉妹都市協定締結の認知度向上につながった。 今後は、姉妹都市交流についての本市での位置づけや取組内容を検討していく必要がある。市内各小中学校でのオンライン授業の実施やダバオ市関連のイベントを実施することで市内の国際化に努める。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ 市内各小中学校でのオンライン授業を継続実施していくための制度設計の検討が必要である。また、大阪・関西万博まで1年となることから、関係課と連携し、万博の機運醸成に努めるとともに、万博後のレガシーの継承や本事業の展開についても検討する必要がある。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 国際化ビジョンの改定を行うことで、庁内全体の国際化に関する事業を推進する。また、庁内における国際化に資する人材の育成として、庁内英会話研修の継続やフィリピン・ダバオ市との姉妹都市について周知活動を行っていく。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　1 人権尊重・平和・多文化共生

○ 主な取組　③ 多文化共生の推進

事務事業名	JETプログラム事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また・幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。 CIR/ALT/SEAを市民との交流のために派遣し・市内での国際交流を推進する。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権国際教育課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	4
ハード			細目	02-JETプログラム事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市人権尊重のまちづくり条例、泉南市人権行政基本方針、人権教育基本方針、人権保育基本方針、泉南市子どもの権利に関する条例、教育振興基本計画						

施策に関する成果指標

指標名	児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%)90%以上												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	%	
	実績	89											
	達成率	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	【翻訳・通訳（CIR）】（延べ184回） ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】（延べ374回） ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣（CIR） ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣（CIR） ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施			
事業の財源	決算額 17,977千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	10,365千円	
	決算書ページ 287ページ	一般財源	7,612千円	
職員数/人件費	正職員 0.98人	正職員以外のその他職員 1.00人	10,296千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
Check 3	翻訳した書類は増加しているが、令和4年度と同程度の翻訳を行い、市民サービスの向上を図ることができた。 また、国際交流に関しては、令和4年度以上の回数を行い、児童生徒はもちろん、就学前施設に通う子どもや市民等にも国際交流活動や多文化共生に関する講義等も行った。 翻訳を通して、外国にルーツのある市民へのサービス向上は一定の基盤が整いつつあるが、実際に悩みを抱えたときなどの相談窓口としての役割も果たせるように、支援の方策を考えていく必要がある。	＜改善内容＞ 国際交流員が行う相談窓口の周知のため、学校園と連携し、保護者へ働きかける。 国際交流活動は引き続き行うと同時に、令和6年度より開始したCIRによる多文化理解講座についてもよりよい周知の方法を考え、市民への更なる普及に努める。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持		姉妹都市であるフィリピン・ダバオ市との連携もあり、国際交流の必要性は増すことが予想される。そのような中で、JETプログラムの特性上、CIRの任期が終了し、新しいCIRの雇用の時期となる。 そのため、業務の引継ぎはもちろんのこと、本市のさらなる多文化共生の推進のためにより密な学校園や地域との連携強化が必要となる。市民向けや学校園での国際交流活動に引き続き重点を置き取り組む。	
			2 見直して継続			
			重点化	○		
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	2	男女平等参画・女性活躍	
目指すまちの姿	誰もが性別等に関わらず、あらゆる分野に参画し、活躍することができるまち		
	まちづくりのあらゆる分野で男女平等参画の理念に基づく取組を進めることで、家庭や職場、地域における理解を浸透し、実践につなげるとともに、性別を問わず誰もが活躍できるまちづくりに取り組みます。		

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
行政委員・審議会委員等における女性登用率	34.9%	40.0%	

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	34.9	35.0	35.5	36.0	36.5	37.0	37.5	38.0	39.0	40.0	
実績	34.1										
達成率	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	A										

主な取組

①男女平等参画社会実現に向けた環境づくり

◇すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発活動や教育を推進します。
◇あらゆる人が自分らしく暮らすことができる地域社会づくりに向け、性の多様性を尊重する環境づくりを推進します。
◇行政委員や審議会委員、市職員における管理職の女性登用を拡大します。

②ワーク・ライフ・バランスの実現

◇仕事と子育てや介護等が必要な時期に多様な働き方を選択することができるよう、ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を促進します。
◇泉南市役所における働き方改革や育児休業・介護休業の取得を促進します。

③あらゆる暴力の根絶

◇家庭、地域、企業、学校等あらゆる場面における暴力や虐待防止のための啓発を行います。
◇暴力や虐待の発生の未然防止や被害者を支援するため、関係機関との連携による相談窓口機能の充実を図ります。

掲載事業一覧 【所幹部】	所管部局評価
1-2-①　男女平等参画啓発事業 【行政経営部】 1-2-③　女性相談事業【行政経営部】	【行政経営部】 取組① まずは各種研修や講演会、集い等の啓発事業への参加を通じて、男女平等参画の理解の促進するとともに、政策や方針決定過程への女性の参画を促進していくよう努める。 取組③ 女性相談は相談件数の減少により、目標達成にはならなかったため、広報について様々な媒体を活用した周知を行う。DV相談については、相談者の不安を取り除き、速やかに救済できるよう関係機関と連携し対応していく。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　2 男女平等参画・女性活躍

○ 主な取組　① 男女平等参画社会実現に向けた環境づくり

事務事業名	男女平等参画啓発事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ すべての人が性別に関わらず活躍できる社会を目指すため、男女平等参画に関する啓発や教育を行う。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	10−男女平等参画啓発事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン						

施策に関する成果指標

指標名	行政委員・審議会委員等における女性登用率												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	34.9	35	35.5	36	36.5	37	37.5	38	39	40	%	
	実績	34.1											
	達成率	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	●男女平等参画都市宣言啓発講演会の実施(参加者21人) 講演名：「性の多様性」について理解を深める ～ALLY（支援者）としてできること～ ●男女平等参画社会づくり講座の実施（2回、参加者延べ30人） 講座名：「心をリラックスして生きるヒント」アロマキャンドルづくり 講座名「言葉の使い方のコツを知って人間関係をスムーズに」ハーバリウムボールペンづくり ●男女平等参画情報誌「Step」の作成（2500部） テーマ：市民意識調査「女性の人権」の項目から見えてくる課題について			
事業の財源	決算額 801千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	547千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 174ページ	一般財源	254千円	
職員数/人件費	正職員 0.39人	正職員以外のその他職員 0.16人	3,553千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 性の多様性についての講演会では、当時者からのお話を通して様々な生き方があることを知り、ほとんどの参加者から、人権問題についての認識が深まったといった感想があった。またグループワークを通して、参加者自身が性的マイノリティの方から相談を受けた場面を想定し、ALLYとして、自分に何ができるのか考えることにつながった。研修手法として聞くだけではなく、参加型学習を取り入れることで、自分事として考える研修内容になった。づくり講座では、できるだけ多くの方に男女平等参画社会への理解を得られるよう、講座へ参加するきっかけとなる「ものづくり」を企画した。女性のエンパワメントを引き出す内容で参加者からは好評を得たが、参加者の確保が課題であった。情報誌Stepについては、人権週間「市民の集い」等人権啓発イベントや会議で配布することで、広く市民への啓発を行った。テーマ設定については、本市の課題や社会的関心のある内容を選定していくことで、さらに多くの方へ周知啓発を行い、意識向上に努めていきたい。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 女性の生きづらさや悩みは年代によっても様々で、女性がどのようなことで悩み、課題を抱えているか、様々な視点からニーズ調査をする必要がある。その上で、テーマを検討し、市民自らの意思で、自主的に参加してもらえる内容を企画することが大切と考える。 また、令和5年度のように講義形式、参加型学習、冊子による啓発等、様々な手法を取り入れ啓発してくことも検討しながら、幅広い年代で参加者が増えるよう、啓発事業を進めていく。 令和6年度の情報誌Stepは、令和6年1月1日に起きた能登地震を受け、「防災と女性参画」をテーマに作成する予定である。直近での危機意識がある中で、災害時での女性の立場に立った意識啓発を行っていきたい。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 行政委員・審議会委員等における女性登用率の向上は、すぐに成果が出るものではないため、最終年での目標達成に向け、まずは多くの市民への参加の呼びかけ、限られた予算・人員の中で、工夫しながら意識啓発につながる取組を進めていく。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	2 男女平等参画・女性活躍
○ 主な取組	③ あらゆる暴力の根絶

事務事業名	女性相談事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 女性の人権が擁護・尊重される社会の形成のため、DVやセクシャルハラスメントに対する啓発を進めるとともに、相談窓口の一層の充実を図る。		5 ジェンダー平等を実現しよう 17 パートナーシップで目標を達成しよう

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	人権推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	2	1	12
ハード			細目	08-女性相談事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市男女平等参画推進条例、第4次せんなん男女平等参画プラン						

施策に関する成果指標

指標名	女性相談を利用した件数（電話相談を含む）												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	108	112	116	120	124	128	132	136	140	144	件	
	実績	106											
	達成率	98.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	・女性相談の実施（年144回） 相談件数79件（稼働率55%） ・電話相談の実施（年間48回） 相談件数27件（稼働率56%） ・相談員・支援員のためのスキルアップ講座の実施（参加者31名） 講座名：「DV被害者への法的支援　～被害者の立場に立って～」			
事業の財源	決算額 1,164千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 174ページ	一般財源	1,164千円	
職員数/人件費	正職員 0.25人	正職員以外のその他職員 0.12人	2,334千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 女性相談については令和4年度より実施回数を増やしているが、相談件数としては、電話相談ともに減少している。実際のところ職員が対応するDV相談件数はかなり増えていて、DVに限らず悩んでいる女性はまだまだ多くいることが予想されるため、女性相談・電話相談ともに、広報活動を積極的に行う必要がある。現状でも行っているが、公共施設内トイレにチラシを配布するなど、女性の目に止まりやすい場所での周知や、今後はその他の手法において周知方法を検討する。 また、相談員・支援員のスキルアップ講座については、女性弁護士による法改正等の話であったため、参加者も多く非常に成果はあった。令和5年度についても、相談員・支援員のニーズも把握しながら、効果的な研修内容にする。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 周知方法について、チラシだけでなく公式SNSを活用する。また、泉南市事業所人権推進連絡会員への周知など、企業へも積極的に周知を行う。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 ○ 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 令和6年度の広報等改善内容を踏まえたうえで、実績件数の結果を分析する。その結果から、相談窓口・時間・回数等の改善を行う。	備考

第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	3	子育て支援	

目指すまちの姿	子どもや保護者が社会や地域に見守られ、子育て環境が充実し、安心して子育てができるまち
	子どもの健やかな成長と子育て家庭を支えるため、地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりを行い、就学前における教育・保育環境が充実したまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合	95.8%	99.0%	3歳6か月児健康診査のアンケート集計より

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	
実績	93.2										
達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	A										

主な取組

①保育環境の充実

◇保育人材の確保や定着、キャリアアップの支援等を行います。
◇保育施設と児童発達支援を一体的に行うインクルーシブ保育や、療育支援に係る専門機関との連携を図ります。
◇保育施設・保育士等による地域の子育て支援や、保護者に対する助言等により、地域や家庭における保育の充実を図ります。
◇子育て関連施設の充実を図ります。

②子育てしやすい環境の整備

◇個々の家庭、子どもに寄り添い、それぞれに応じた切れ目のない、継続的な支援を行います。
◇就学前の子どもとその保護者の居場所づくりや、ふれあえる機会づくり、子育てに関する情報提供等の充実を図ります。
◇身近な子育て支援者の人材発掘、育成、見守りがある地域づくりを行います。
◇家庭で協力して子育てを行うための啓発活動を促進します。
◇児童虐待の発生を予防するため、面談等を通じ、保護者等への支援を行います。

③子どもと保護者の健康づくりの推進

◇妊娠中から出産、子育て期に至るまで、安心を確保できるよう、各機関の機能充実や連携強化、母子の健康管理、発達相談等を行います。
◇近隣市町や医師会との連携等による周産期医療や、小児医療の体制の強化を図ります。

掲載事業一覧 【所幹部】

1-3-①　認定こども園事業 【健康子ども部】

1-3-①　民間保育所等支援事業 【健康子ども部】

1-3-①　子ども総合支援センター事業 【健康子ども部】

1-3-①　児童発達支援事業 【健康子ども部】

1-3-②　家庭児童相談室事業 【健康子ども部】

1-3-②　子ども食堂応援事業 【健康子ども部】

1-3-②　育児ヘルプ家庭訪問事業 【健康子ども部】

1-3-②　出産記念品配付事業 【健康子ども部】

1-3-②　子どもが遊べる拠点事業【健康子ども部】

1-3-②、③　子ども医療助成事業 【健康子ども部】

1-3-②　地域子育て支援拠点事業 【健康子ども部】

1-3-②　ファミリーサポートセンター事業 【健康子ども部】

1-3-③　泉州広域母子医療センター運営補助事業 【健康子ども部】

1-3-③　母子健康増進事業 【健康子ども部】

1-3-③　母子健康診査事業 【健康子ども部】

所管部局評価

【健康子ども部】
取組①
安全・安心な保育教育を継続して提供できるよう、関係機関との連携及び職員のキャリアやスキルアップにつながる研修を行い、修繕・補修の状況を含め、中長期的な施設の最適な在り方も踏まえ子育て施設の充実を図った。また、子どもたちの発達・成長のため、地域の障がい理解や早期発見、早期療育につながる必要な助言や援助を行い、発達支援の地域での中核的な役割を継続することで、地域での療育等のさらなる向上を図った。引き続き、施設及び人材の観点から保育環境の充実に努める。

取組②
子育て世帯に対し、就学前児童の居場所づくりや、安心して子育てができる地域づくり、子育てに関する情報提供や啓発活動の充実を図り、個々の家庭に応じた切れ目のない継続的な支援を行った。また、児童虐待の発生を防ぐため、相談窓口の設置、家庭訪問、面談等を通じ、児童が安全な環境で暮らせるよう保護者への支援を行った。今後は、ヤングケアラー等の新たな支援対象にも対応することができるよう研修等を受講し、スキルアップを図る。

取組③
安全・安心な周産期医療の確保、妊娠中からの伴走型相談支援及び経済的支援を一体的に行うことで、安心して妊娠・出産・子育てできるよう努めた。また、妊婦健診及び乳幼児健診等で健康状態や育児の悩み等を確認し、必要な情報提供等を行うことで、母子の健康管理と育児支援を行った。今後も、子どもと保護者の健康づくりのため、母子医療について、各機関の機能充実や連携強化を図る。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	① 保育環境の充実

事務事業名	認定こども園事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる認定こども園の運営を行います。（なるにっこ認定こども園）		3 すべての人に健康と福祉を

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保育子ども課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	6
ハード	○		細目	02-認定こども園事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子ども・子育て支援法、泉南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に関する条例、第2期子ども・子育て支援事業計画						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1 家庭支援保育士による在園家庭の育児相談等（87件）、在宅家庭の育児相談(68件）等を行った。 2 ・保育人材の就労支援 「保育学生就職支援プログラム」及び「潜在保育士復職支援プログラム」に各1名参加した。 ・保育士の質の向上 職員研修（7回）・on-line研修（112講座）・ちゃいるどネット大阪人権保育講座（1コース・6講座）・郡市園長会・保育士会・保育子育て人権研修会において、研修を実施した。 3 適正な保育環境維持のために必要な修繕を実施した。 1,875,995円（17箇所）			
事業の財源	決算額 26,744千円	国庫支出金	418千円	
		府支出金	48千円	
		市債	0千円	
		その他	9,342千円	
	決算書ページ 216ページ	一般財源	16,936千円	
職員数/人件費	正職員 8.39人	会計年度職員 任期付職員 0.24人	65,913千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 1 園庭開放利用者アンケートで、育児相談しやすいとの回答が94%だった。今後も相談しやすい環境をつくりながら、相談業務を行っていく。 2 ・保育人材の就労支援 プログラムの参加者からは「参加して良かった」との感想があったので、継続して実施する必要があるが、参加者数が少ないので、内容の見直しや周知の工夫が必要である。 ・保育士の質の向上 様々な研修を受講することで、スキルアップにつながっている。特にon-line研修は短時間で受講可能なので、職員不足の中でも学ぶことができるので、継続して実施する。 3 施設の老朽化により、今後も修繕が必要となる箇所が出てくる。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 1 関係機関と連携しながら、様々な悩みに応えていく。 2 ・保育人材の就労支援 ハローワークや大阪府保育士・保育所支援センターと連携しながら広く周知をする。 ・保育士の質の向上 必要な研修に参加できるよう、職員配置に取り組む。 3 施設と連携を取り、保育環境の維持のため修繕箇所の優先順位を付け、適正に修繕を実施する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	備考
		1 現状維持	○	安全・安心な保育・教育を継続して提供するために、様々な媒体を利用しながら職員確保に努める。また、関係機関と連携しながら子育て支援の現状を把握し、必要な研修の実施や参加を促す。	
		2 見直して継続			
		重点化			
		手段改善			
		効率化（コストダウン）			
		規模縮小			
		事業統合			
		3 休止・廃止			
		4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　① 保育環境の充実

事務事業名	民間保育所等支援事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 保育・教育を必要とする児童のため、安全で安心できる保育所・認定こども園等の運営がなされるよう補助します。 （10施設）		3 すべての人の健康と福祉を

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保育子ども課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	6
ハード	○		細目	03-民間保育所等支援事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 利用者支援事業 ・第2子無償化 （対象者　前期93名　後期96名　金額19,242,400円） ・食材料費の高騰に対応するために各施設へ補助 （500円×毎月初日の入所児童数） 2. 保育人材確保等事業 ・保育士（補助者含む）の雇用状況により、各施設へ補助 （7施設　46,437,900円） ・研修受講に際し、経費の一部を該当施設へ補助 （3施設　159,000円） 3. 民間施設運営支援事業 ICTを活用した業務効率化支援（登降園管理、連絡ツール、午睡チェック等）（1施設　375,000円）			
事業の財源	決算額	国庫支出金	741,306千円	
	1,447,927千円	府支出金	239,241千円	
		市債	0千円	
		その他	6,340千円	
	決算書ページ　217ページ	一般財源	461,040千円	
職員数/人件費	正職員　0.64人	正職員以外のその他職員	0.00人	4,977千円

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 上記1、2の事業に関しては各保護者、施設も積極的な活用が見られたが、3に関しては、1施設のみの活用となった。今後、国の動向に注視し、情報を集めるとともに、各施設への周知徹底を図り、積極的な活用促進に取り組む。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ 有効的な補助金の活用に資するため、各補助金事業における成果のアンケート（職員数、職員の勤続年数、導入したシステムに対する保護者からの声など）を実施する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持　○	保育施設が抱える課題の把握と優先度を検討し、効率的に課題解決できるように補助金を活用しながら事業を進める。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　① 保育環境の充実

事務事業名	子ども総合支援センター事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 障害のある子どもたちの発達・成長のため、子ども総合支援センターを中心に個々の子どもに応じた支援を行います。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保育子ども課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	7
ハード	○		細目	02-子ども総合支援センター事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	通所支援事業サービスを利用していない地域の障害児やその家族等への療育相談・相談支援の実施や地域の子どもの関わる機関への適切な助言や支援を実施した。 発達検査や適切な助言・療育を行う体制を強化した。 発達障害に関する知識を有する心理職等が中心となり、幼児教育保育施設等を訪問し、子どもの園生活や支援の状況を把握し、今後の支援のあり方について必要な助言や支援を行った。 ・親子教室開催回数　93回 ・相談件数　70件（発達相談28件・育児相談38件・その他4件） ・発達検査数　171件 ・幼児教育保育施設数　8箇所 ・幼児教育保育施設への訪問回数　33回			
事業の財源	決算額 8,373千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	2,850千円	
		市債	0千円	
		その他	181千円	
	決算書ページ 219ページ	一般財源	5,342千円	
職員数/人件費	正職員 2.50人	会計年度職員 任期付職員 3.40人	29,807千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 子どもの様子や職員の関わり等を実際に訪問して聞き取り、様子を見ることで現状の把握ができた。また訪問先の施設職員と子どもの特性や支援内容について一緒に振り返り、考えることで、子どもが園生活を安心して過ごせるよう助言や支援を行った。今後も発達障害の早期発見・早期療育への気づきを促し、支援へとつなげていく。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 各施設職員のスキルアップが図れるよう、発達障害児の特性理解や支援につながる具体的な方法を継続して行う。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
				1 現状維持 ○	引続き、各施設を訪問し、子どもの園生活や支援の状況、施設の環境等を把握し、子どもや保護者が地域で安心して過ごせるよう地域の障がい理解や早期発見・早期療育につながる必要な助言や支援を行う。	
				2 見直して継続		
				重点化		
				手段改善		
				効率化（コストダウン）		
				規模縮小		
				事業統合		
				3 休止・廃止		
				4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　① 保育環境の充実

事務事業名	児童発達支援事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 大阪府の指定事業で、障害のある子どもたちの発達・成長のため、個々の子どもに応じた支援を行います。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保育子ども課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	7
ハード	○		細目	03-児童発達支援事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子ども・子育て支援法、第2期子ども・子育て支援事業計画						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員の療育技術向上のための研修・相談・実習受け入れの実施及び事業所利用者の保護者向け研修・療育相談の実施。 事業を利用している障害児やその家族等への療育相談・相談支援の実施。 ・児童発達支援事業契約数　60人 ・放課後等デイサービス事業契約数　12人 ・保育所等訪問支援事業契約数　25人 ・研修開催回数　27回 ・家庭訪問件数　41件			
事業の財源	決算額 17,971千円	国庫支出金	50千円	
		府支出金	25千円	
		市債	0千円	
		その他	17,896千円	
	決算書ページ 219ページ	一般財源	0千円	
職員数/人件費	正職員 8.50人	会計年度職員 任期付職員 12.18人	103,867千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 発達検査の実施及び適切な助言や療育を行うため、障害特性や支援等についての研修に参加し、センター職員のスキルアップを行った。また、地域の障害児通所支援事業所の職員や関係機関職員、保護者向けの研修・相談等の実施により地域支援を行うことができた。引き続き、事業を継続することで地域での療育技術の向上を図る。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 児童発達支援センターとして、地域の中核的な療育支援が行えるようセンター職員のスキルアップを行い、関係機関職員等や保護者のニーズに沿った研修や支援の提供を行っていく。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 地域の中核的な役割を継続するために、職員の専門職の配置や専門的なスキルアップを図る。同時に関係機関職員等や保護者向け研修や支援の提供を行っていき、引き続き事業を継続することで地域での療育技術の向上を図る。

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	② 子育てしやすい環境の整備
事務事業名	家庭児童相談室事業
事業に関連するSDGs	

＜事業概要＞
子どもの最大の利益を優先し、児童虐待について発生予防から自立支援までの一連の対策を行う。また、子ども本人や保護者等からの相談対応や調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行う。

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	家庭支援課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	1
ハード			細目	04-家庭児童相談室事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%
	実績	93.2										
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	達成度	A										

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 児童・保護者等支援事業 ・親支援面接の実施(164回) ・出張型生活場面活動支援の実施(105回) ・研修会の実施(ヤングケアラーについて理解を深めるため、関係機関に対しての研修を1回実施) 2. 子ども相談事業 ・専用フリーダイヤルをツールとした相談対応機能の立ち上げ及び運営（令和5年7月3日(月）フリーダイヤルを開設） ・メールや手紙等をツールとした相談対応機能の立ち上げ及び運営 3. 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 ・要保護児童対策調整機関の職員等の専門性強化 相談員延べ52人が専門性を高めるための研修を受講 ・児童虐待対応に関する進行管理や個別ケース検討会議等の実施 個別ケース検討会議30件、実務者会議5回実施 ・養育支援訪問事業の中核機関として進行管理等の実施 当課を含めた3機関の養育支援訪問対象76世帯について進行管理			
事業の財源	決算額 1,577千円	国庫支出金	15千円	
		府支出金	1,487千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 208ページ	一般財源	75千円	
職員数/人件費	正職員 4.00人	正職員以外のその他職員 3.00人	40,864千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 課題 ・ヤングケアラー等、新たな視点の支援対象にも対応していく必要がある。 ・児童福祉法の改正に伴い、令和6年度からは必要に応じてサポートプランの作成が必要となる。 ・児童福祉法の改正に伴い、令和6年度からは養育支援訪問事業の対象者が変更になるため対応が必要である。 ・家庭児童相談室機能を維持したうえで、母子保健機能と一体的に切れ目のない支援を行うことが必要である。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ ・ヤングケアラー等、新たな視点の支援対象にも対応していく必要があるため、専門性を高める研修を積極的に受講する。 ・対象家庭と共に実情の改善に向けての共通ツールとして、サポートプランを作成する。 ・養育支援訪問実施機関に対して説明会等を実施する。 ・子ども家庭センターを設置・運営する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持	方向性 ・児童福祉と母子保健機能を一体化した支援機関として、子ども家庭センターを運営し、妊娠期からの切れ目のない支援を行う。 取組内容 ・家庭児童相談室事業を継続していく。 ・母子保健との合同ケース会議等を実施する。 ・母子保健との共通ツールや地域資源の開発を行う。	
			2 見直して継続		
			重点化 ○		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　② 子育てしやすい環境の整備

事務事業名	子ども食堂応援事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
泉南市子ども食堂ネットワーク登録団体に対し、子ども食堂の運営に必要な費用の一部を補助することにより、継続的・安定的な子ども食堂の運営を支援し、食事の提供をとおした子どもの居場所を確保する。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	家庭支援課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	3	2	1
ハード			細目	05-子ども食堂応援事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画、第2期泉南市まち・ひと・しごと創世総合戦略					

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容（年次計画）

Plan 1

1. 子ども食堂ネットワーク事業
・ホームページ等による広報を実施
　ホームページ及び4月広報で登録案内
・子ども食堂への支援等に関する情報提供
　大阪府や支援団体機関からの情報提供を実施
・子ども食堂を開催している主体の相互連携を支援
　令和6年1月に交流会において講演等を実施し、子ども食堂実施団体同士の交流を図った。

2. 子ども食堂ネットワーク補助金事業
・子ども食堂ネットワーク登録団体を対象に、子ども食堂の運営に関する費用の一部を支援
　7団体に対して、各20万円の補助を実施

（実績）

Do 2

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

事業の財源

決算額			
1,406千円		国庫支出金	0千円
		府支出金	1,406千円
		市債	0千円
		その他	0千円
決算書ページ	209ページ	一般財源	0千円

職員数/人件費

正職員	0.12人	正職員以外のその他職員	0.80人	3,535千円

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容

Check 3

＜成果・課題＞

成果
令和5年度は新規に2団体が加わったため、交流会では既存団体との意見を交わす良い機会になった。また、近隣自治体で活動している団体代表者を講師として講演を実施したことは、様々な活動形態の子ども食堂があることを知り得る機会となった。市内4圏域で活動するCSWも今回の交流会に招き、地域資源としての子ども食堂を紹介できた。

課題
各小学校区に1か所以上の子ども食堂の設置が望ましいが、現状は子ども食堂がない小学校区がある。

令和6年度の改善の取組　Action 4

＜改善内容＞
・各小学校校区に1か所以上の子ども食堂設置を目指し、引き続き登録について周知する。
・子ども食堂運営の支援として、引き続き補助事業や情報提供、交流会を実施する。

令和7年度以降の事業の方向性と取組

事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	備考
1 現状維持	○	方向性 ・食事の提供をとおした子どもの居場所としての子ども食堂が、安定した継続運営ができることを目指す。 取組内容 ・補助事業を継続する。 ・支援団体からの情報提供を継続する。 ・食堂間の交流を図り、運営等に関して互いに情報交換できる機会を設ける。	
2 見直して継続			
重点化			
手段改善			
効率化（コストダウン）			
規模縮小			
事業統合			
3 休止・廃止			
4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　② 子育てしやすい環境の整備

事務事業名	育児ヘルプ家庭訪問事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 家事・育児等に対して不安や負担を抱え、支援を行うことが特に必要な家庭に対し、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みに傾聴するとともに、家事支援や育児支援を実施することにより、当該家庭の養育環境を整え、児童虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	家庭支援課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	1
ハード			細目	06-育児ヘルプ家庭訪問事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
子どもの権利に関する条例						

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	・実施要綱の制定 （令和5年7月1日制定） ・事務取扱要領の制定 （令和5年7月1日制定し、令和5年7月11日事業者へ説明会を実施後随時登録受付） ・委託事業者募集要項、委託概要書等の制定 （令和5年7月1日制定し、HPで委託事業者募集を周知） ・委託契約締結⇒事業開始 （登録4事業者と令和5年9月12日随意契約を締結） ・広報紙等による事業周知 （令和5年9月広報で周知、妊娠届出時及び乳児医療申請時にチラシを配布） ・利用申請受付、育児ヘルパー派遣の決定等の実施 （令和5年10月1日より受付開始、令和5年度中に申請3件、内利用1件）			
事業の財源	決算額 548千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	410千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 209ページ	一般財源	138千円	
職員数/人件費	正職員 0.35人	正職員以外のその他職員 0.00人	2,722千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 課題 ・利用にあたっては、利用者宅に最も近い事業所を案内する予定であるが、令和5年度は4事業者の登録で、調整が必要であったため、スムーズな運営に向けて登録事業者数を増やす取組が必要である。 ・必要な家庭にもれなく情報提供できるよう、周知方法を検討する。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ ・事業者説明会を実施し、登録事業者数の増加につなげる。 ・国要綱改正に伴い、適切な事業運営のため事業者向けの研修を整備する。 ・公共機関等へのチラシ配架を依頼する。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容
				1 現状維持 ○	・事業の方向性 ヘルパー派遣により、育児負担を軽減することで虐待の未然防止につなげる。 ・取組の内容 目的達成のため、利用者の声や家庭(育児)支援等を行う関係機関と連携し、必要に応じて利用対象の拡大を検討する。
				2 見直して継続	
				重点化	
				手段改善	
				効率化（コストダウン）	
				規模縮小	
				事業統合	
				3 休止・廃止	
				4 完了	

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　② 子育てしやすい環境の整備

事務事業名	出産記念品配布事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 泉南市に出生届を提出した本市に住民票をおく新生児を対象に、おくるみを配布する。		

事業区分		事務事業コード				
新規	○	担当課名	家庭支援課			
継続		予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	3	2	1
ハード			細目	07-出産記念品配布事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%
	実績	93.2										
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	達成度	A										

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	出産記念品配布事業 ・出生届提出時に市民課の窓口でおくるみを配布した。 ・4月～配付開始前までに出生した新生児は保健推進課または家庭支援課で配布した。			
事業の財源	決算額 1,180千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 209ページ	一般財源	1,180千円	
職員数/人件費	正職員 0.30人	正職員以外のその他職員 0.00人	2,333千円	

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ おくるみのデザインに本市のマスコットキャラクターを起用することで、地域への愛着を深めるとともに、本市の子育て支援策に対するPRとなった。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ デザインを変更し、令和6年度分の入札を執行する。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性：1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容：出産という貴重なライフイベントに際し、記念品を贈ることにより子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに地域への愛着を深められるように図る。

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1　『ひと』を育てる・輝かせる		事業区分		事務事業コード	
○ 施策　3　子育て支援		新規	○	担当課名	家庭支援課
○ 主な取組　② 子育てしやすい環境の整備		継続		予算 会計名	一般
事務事業名　子どもが遊べる拠点事業	事業に関連するSDGs	ソフト		款項目	3 / 2 / 1
＜事業概要＞ 公共施設の中に大型遊具を設置し、年間を通じて安全・安心な環境で乳幼児が保護者の管理のもとに生き生きと遊べる室内公園のような空間を整備する。		ハード	○	細目	11子どもが遊べる拠点事業
		市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）	
		泉南市総合福祉センター条例			

施策に関する成果指標

指標名	整備箇所数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	1										箇所	
	実績	1										箇所	
	達成率	100.0%											
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	泉南市総合福祉センター「あいぴあ泉南」2階に大型遊具を設置し、年間を通じて安心・安全な環境で乳幼児が保護者の管理のもとに生き生きと遊べる室内の公園のような空間を整備した。泉南市の豊かな自然をイメージした広場の中には「船のエリア」「森のエリア」「海のエリア」に分かれており、天候に左右されず年齢や目的に応じた遊びができる場所の整備を行った。 ※令和5年度補正予算				
事業の財源	決算額 27,515千円	国庫支出金	0千円		
		府支出金	0千円		
		市債	0千円		
		その他	27,515千円		
	決算書ページ 210ページ	一般財源	0千円		
職員数/人件費	正職員 1.03人	正職員以外のその他職員 0.00人	8,010千円		

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 泉南市総合福祉センター「あいぴあ泉南」2階に大型遊具を設置し、年間を通じて安全・安心な環境で乳幼児が保護者の管理のもとに生き生きと遊べる室内公園のような空間を整備した。令和6年4月26日にグランドオープンして1か月で、大人1,899人・子ども2,340人・合計4,239人、平日で平均83人、土日祝で平均238人の来場があった（5月26日時点）。利用者アンケートの結果では「とても楽しかった。また遊びに来たい。」「泉南市にこんな施設ができて嬉しい。」等の利用感想があり、満足度は「大変満足」「満足」が99%であった。今後も多くの方に利用していただくために、どのようにして、市内・市外に広くPRしていくかが課題である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組	備考
		＜改善内容＞ 来場者を増やしていくために、広報・HP・facebook、Instagram等を活用し発信する。また、委託業者にチラシ作成を依頼し、イベント・行事等で配布する。運営は、あいぴあ泉南の管理委託業者が行うため、月1回の運営会議を実施し、日々の利用状況や運営上の課題等を随時共有していく。遊具で事故、ケガがなく子どもたちが安全に遊べるよう、混雑時には、スタッフの配置、見守りを強化する。また、来場者アンケートにより、飲食スペースの設置要望があり、今後検討していく。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持 ○	施設内の玩具等、破損、紛失しているものがあり、補充が必要なものや、修繕が必要な遊具については、予算を計上し対応する。また、あいぴあ泉南の管理委託業者と連携、情報共有し、乳幼児が安全・安心な環境で遊べる施設として運営していく。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	② 子育てしやすい環境の整備　③ 子どもと保護者の健康づくりの推進

事務事業名	子ども医療助成事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
出生時、転入時に乳幼児医療証の発行し、医療費を助成する。
一部自己負担額：1医療機関あたり、入通院各500円／日（月2回限度）。 1ヶ月あたりの負担限度額：2,500円。対象年齢は18歳到達年度末まで。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	家庭支援課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	3	2	2
ハード			細目	01−子ども医療助成事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
子どもの医療費の助成に関する条例・施行規則					

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容（年次計画）Plan 1（実績）Do 2	・子ども医療証の発行 ・府内診療は現物支給。府外診療は申請により現金給付（振込）。 ・対象年齢の拡充（0歳～中学3年生から0歳～18歳到達後の年度末まで） 助成件数94,913件　医療助成費191,119,558円			
事業の財源	決算額 197,296千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	20,836千円	
		市債	0千円	
		その他	18,025千円	
	決算書ページ 211ページ	一般財源	158,435千円	
職員数／人件費	正職員 1.10人	正職員以外のその他職員 0.10人	8,822千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 対象年齢を3学年分拡充することで、新たに対象者約1,800人分（助成件数11,502件　助成金額26,277,082円）の医療費を助成することができた。 少子化対策の観点からも引き続き医療費の一部について助成する必要がある。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 令和6年度よりPMH事業（医療証のマイナンバーカード一体化）を開始し、利用者の医療機関受診時の利便性を図る。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持 ○	引き続き事業を行うことで、子どもの健康の保持増進及び子育て世帯に係る経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てる環境を整備する。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	② 子育てしやすい環境の整備
事務事業名	地域子育て支援拠点事業
事業に関連するSDGs	

＜事業概要＞
直営の地域子育て支援センター『ひだまり』を中心に、就学前の子どもとその保護者の居場所である地域子育て支援センターを運営する。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	家庭支援課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	3	2	8
ハード			細目	02-地域子育て支援拠点事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画					

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 利用者支援事業 ・保護者の相談に応じ、個々のニーズに合った支援事業・期間等を紹介する。相談件数 328件 ・地域資源の開発（乳幼児の遊びの広場の開設） 2. 地域子育て支援拠点事業 ・委託契約締結 ・ひだまりルーム、出前保育、親子教室、子育て講座等の実施 ひだまりルーム参加延べ子ども数 4441回 出前保育参加延べ子ども数 373人 親子教室参加延べ子ども数 244人 子育て講座参加延べ子ども数 105人 ・子育てに関わる機関と連携・協力し、子育て支援を行う。 ・育児パパへのサポートを行う。 土曜日・日曜日のひだまりルーム年間4回実施				
事業の財源	決算額 18,137千円	国庫支出金	6,041千円		
		府支出金	6,041千円		
		市債	0千円		
		その他	16千円		
	決算書ページ 221ページ	一般財源	6,039千円		
職員数/人件費	正職員 3.00人	正職員以外のその他職員 3.80人	33,496千円		

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ・あいぴあ泉南のエスコ事業及び乳幼児の遊びの広場開設に伴う改修工事のため保育室を使うことができず、その期間は実施できない事業(年齢別ルーム、おいでおいで広場、おひさま交流会、プチルポ)、回数を減らした事業(双子のサークル活動)、樽井防災コミュニティセンターを借りて行った事業(子育て講座、赤ちゃん教室、体操教室、出前保育)があった。利用者に混乱がないように、周知、案内を丁寧に行った。 ・地域子育て支援拠点事業の周知のため、保健センター事業の4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、ママサロンに出向き、直接会ってひだまり事業について説明することで利用者増加につなげた。その中で、コロナ禍から行っている人数制限のための予約制度が参加のハードルとなっているという声があった。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ ・ひだまりルーム、よちよちルーム、ころころルーム…定員、予約を無くすことで、気軽に参加することができるようにする。 ・年齢別ルーム、親子教室、子育て講座等…定員を設け予約制を継続することで、適切な準備や丁寧な関わりを継続する。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持		保護者の相談対応や利用者アンケートのなかで、利用者のニーズを把握し、必要な支援が行えるように、事業の見直しを行う。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善	○		
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	② 子育てしやすい環境の整備
事務事業名	ファミリーサポートセンター事業
事業に関連するSDGs	

＜事業概要＞
子育ての援助が必要な方と子育ての援助を行いたい方を組織化し、会員相互の子育てに関する援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立を支援するとともに地域の子育て支援を行い、市民参加による協働の子育て支援を通じて地域コミュニティの形成を図る。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	家庭支援課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	3	2	8
ハード			細目	03-ファミリーサポートセンター事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
子どもの権利に関する条例、第2期泉南市子ども・子育て支援事業計画					

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2											
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1 ファミリーサポートセンター事業 ・入会手続き、会員登録 ・会員同士のペアリング ・援助の調整 ・研修会の実施 ・ほっとみるく通信の発行 活動件数 352件 新規会員登録数 23件 うち利用会員 16人 うち協力会員 6人 うち両方会員 1人 年間ペアリング件数 11件 研修会 実施回数 12回 延べ参加人数 65人			
事業の財源	決算額 956千円	国庫支出金	318千円	
		府支出金	318千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 222ページ	一般財源	320千円	
職員数/人件費	正職員 0.00人	正職員以外のその他職員 2.20人	5,885千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ・利用する理由は、「仕事」が63.6%、「保護者の病気・体調不良」が16.5%、「産前・産後」が10.2% ・活動内容は、「送迎」86.9%、「送迎と前後の預かり」2.3%、「預かり」10.8% ・利用したい人に対して協力会員の数が少ない。協力会員は比較的高齢な方が多い。協力会員を増やすための取組が必要である。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ ・令和6年4月より、泉南市総合福祉センター「あいぴあ泉南」内3階から1階に受付場所を移設したことで、館を利用する人の目にとまる機会が増えファミリーサポートセンター事業を知ってもらうきっかけとなる。 ・しばらく利用がない会員に連絡をとり、再活動を促す。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容
				1 現状維持 ○	利用会員、協力会員、ともに会員数を増やすことで、適切な運営を行っていく。
				2 見直して継続	
				重点化	
				手段改善	
				効率化（コストダウン）	
				規模縮小	
				事業統合	
				3 休止・廃止	
				4 完了	

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	③ 子どもと保護者の健康づくりの推進

事務事業名	泉州広域母子医療センター運営補助事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 泉州広域母子医療センター運営事業に対し、負担金を交付する。地域の安全・安心な周産期医療の確保を目指し、周産期センター（市立泉佐野病院・現地方独立行政法人りんくう総合医療センター）と婦人科医療センター（市立貝塚病院）として平成20年度にスタートし、4市3町からの財政的支援を受け、継続的・安定的に運営している。		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	保健推進課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	4	1	2
ハード			細目	01~泉州広域母子医療センター運営補助事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2										%	
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	泉南地域4市3町 出生数 泉南市/4市3町 令和元年度 出生数 428人/2, 294人 令和2年度 出生数 386人/2,152人 令和3年度 出生数 402人/2,091人 令和4年度 出生数 374人/2,081人 令和5年度 出生数 353人（前年比▲21人）/1,981人（前年比▲100人）				
事業の財源	決算額 26,942千円	国庫支出金	0千円		
		府支出金	0千円		
		市債	0千円		
		その他	0千円		
	決算書ページ 229ページ	一般財源	26,942千円		
職員数/人件費	正職員 0.01人	正職員以外のその他職員 0.00人	78千円		

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 泉州広域母子医療センターは、ハイリスク分娩などの困難事例、夜間救急対応を含め365日24時間の受け入れ体制（常時、産科医2名、小児科医1名）が整備されている。不採算の部分ではあるが、地域の安全・安心な産科医療を継続するために、4市3町の連携支援が必須である。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 泉州広域母子医療センター運営協議会及び連絡会議において、大阪大学・医師会・大阪府・各市町等が泉州地域の周産期医療体制、安心安全な母子医療について協議・調整を実施し、現在の体制を継続する必要がある。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 市内に分娩を取り扱う医療機関がないため、市民の分娩場所を確保し、早産・多胎出産、妊娠糖尿病等のハイリスク分娩にも迅速に対応できることが必要である。また、産婦人科医の不足等により、貝塚市以南の4市3町の広域で継続して取り組むことが重要である。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　3 子育て支援

○ 主な取組　③ 子どもと保護者の健康づくりの推進

事務事業名	母子健康増進事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。居場所づくりや情報提供等、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して子育てできるように支援する。必要時には、関係機関との連携を図り支援を実施する。

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保健推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	4	1	3
ハード			細目	01-母子健康増進事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				

母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法
泉南市子ども・子育て支援事業計画

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2										%	
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 情報提供の充実 せんくまっこナビ（母子健康手帳アプリ）：登録数494件 「子育てノート」の作成（母子健康手帳交付時に配布） 2. 妊娠、出産への支援 妊産婦・多胎児タクシー乗車券交付：妊産婦308人、多胎9人 せんくまっこベイビーサポート（出産・子育て応援給付金）：出産341人、子育て351人 3. 相談支援事業の充実　助産師相談 母子健康手帳交付364件（助産師・保健師面談） 4. 訪問支援事業の実施（こんにちは赤ちゃん訪問）337人 5. サロン、各教室の実施 ママサロン52人、助産師相談19人 6. 産前・産後サポート事業 両親教室（4回）38人、産後ケア事業利用者12人 7. 関係機関との連携強化			
事業の財源	決算額 40,198千円	国庫支出金	29,958千円	
		府支出金	8,552千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 230ページ	一般財源	1,688千円	
職員数/人件費	正職員 1.25人	正職員以外のその他職員 2.35人	16,325千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		＜改善内容＞		事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
Check 3	出産・子育て応援給付金事業を開始し、妊娠期から子育て期の家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」の充実とともに、「経済的支援」を一体的に実施した。また妊産婦や多胎児家庭に、受診や外出支援として、タクシー利用支援事業（タクシー券の支給）を実施した。妊娠・出産・育児に関する母子保健サービスの情報を掲載した「子育てノート」を作成し、母子健康手帳交付時にセルフプランとして個別に必要な情報を提供することができた。母子手帳アプリは、母子手帳交付時や健診・訪問時に案内し、乳幼児の栄養など情報発信している。 産後ケア事業では、家族等から十分な家事や支援が受けれない方だけでなく、心身の不調や育児不安がある方も利用できるように対象を変更したため、利用者も増え、産後に安心して子育てができる支援ができた。産後の育児不安や負担の軽減のために、利用しやすいサポート体制の充実を図ることが大切である。	妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援「伴走型相談支援」の充実を図る。母子健康手帳交付時など妊娠期からの関係づくりを重視し、必要がある家庭には出産後早期に訪問し、子育て支援を行う。 母子健康手帳アプリの利用者が増加するよう、子育てに関する情報をタイムリーに発信できるように内容等を検討していくとともに、母子手帳交付時にアプリの活用について周知し、勧奨を行う。 産後の支援として、アウトリーチ（訪問型）の産後ケア事業の導入や、一時預かり保育等利用の試し利用の機会、また育児負担軽減のための利用料金の減額など、利用しやすい支援体制の充実が図れるように検討する。		1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	妊娠、出産、子育てを切れ目のない支援を実施する。居場所づくりや情報提供等、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して子育てできるように支援する。必要時には、関係機関との連携を図り支援を実施する。 産後ケア事業等、産後に利用しやすい支援体制の充実を図る。 母子保健・児童福祉の両機能が相談支援を行う機関としてのこども家庭センターの機能の設置と充実を図り、児童福祉と連携して子育て支援に取り組む。	

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	3 子育て支援
○ 主な取組	③ 子どもと保護者の健康づくりの推進
事務事業名	母子健康診査事業
事業に関連するSDGs	

＜事業概要＞
乳幼児・妊産婦の健康診査等をとおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩み、不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援する。必要時には関係機関と連携し、支援をする。妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援を実施する。

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	保健推進課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	4	1	3
ハード			細目	02−母子健康診査事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				

母子保健法、子ども子育て支援法、児童福祉法、成育基本法
泉南市子ども・子育て支援事業計画

施策に関する成果指標

指標名	この地域で今後も子育てをしていきたいと回答した人の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	96.0	96.2	96.4	96.6	97.0	97.4	97.8	98.2	98.6	99.0	%	
	実績	93.2										%	
	達成率	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 妊産婦健診の実施・フォローの充実 妊婦健診公費負担14回　産婦健診2回公費 産婦健診 2週間　91.5%　1か月健診　83.3% 2. 乳幼児健康診査の実施・フォローの充実（全数把握） 4か月児健診　362人 97.6% 1歳6か月児健診　368人 96.8% 3歳6か月児健診　386人 95.3% 3. 経過観察健診等の実施・フォローの充実 経過観察健診157人　発達相談249人 4. 相談支援の実施・充実 母子健康手帳の交付　364人（保健師・助産師面談） 5. 産前・産後ケア事業の充実 両親教室4回　38人　産後ケア事業　利用者12人 6. 関係機関との連携の強化			
事業の財源	決算額 53,533千円	国庫支出金	2,162千円	
		府支出金	611千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 231ページ	一般財源	50,760千円	
職員数/人件費	正職員 1.05人	正職員以外のその他職員 2.00人	13,833千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 妊婦健診は、国基準の公費負担と産婦健診2回公費で経済的支援を実施している。産後に心身が不安定となるため、産後うつの予防や育児支援のために、産後健診の受診率をあげることが大切である。 乳幼児健診の受診者数は、出生率の低下により減少傾向にあるが、受診率は高い数値で横ばいで推移している。未受診児も全数把握しており、子どもの健康状態や保護者の育児の悩みや不安等に対応する専門職によるカウンセリングを行い、健診後も支援が必要な場合には、支援を継続している。新型コロナウイルス感染症の感染予防の対応として、集団指導を控え、パンフレット等の配布など個別の対応をしていたが、感染状況等を踏まえ緩和し、年度途中より集団指導を再開する。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ 妊婦健診や産後健診の受診では、母子健康手帳交付時等において健診の必要性を伝え勧奨していくとともに、健診機関の産科や産院と連携を強化し、産後健診の受診率をあげることにより、母子の健康管理と支援を図る。 乳幼児健診の集団指導を再開しており、子どもの健全な発育・発達を促すために、生活習慣や栄養など子育てについて適切な情報を提供できるようにする。 健診の機会を通して、母子の健康管理と育児支援を実施するとともに、必要時は他機関と連携し、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援の充実を図る。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 乳幼児・妊産婦の健康診査等をとおして、子どもの健康状態や保護者の子育ての悩みや不安等について、相談を受けるとともに、保護者が安心して子育てができるよう、支援の充実を図る。必要時には関係機関と連携し、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援の充実を図る。	備考

第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	4	就学前教育・学校教育	

目指すまちの姿	安全・安心な環境の中で、学力向上に取り組むことができ、子どもたちの笑顔と健康が守られるまち
	子どもが安全に安心して過ごせる教育環境の中で、確かな学力とたくましく生きる力を身につけられるよう、家庭、地域、学校、行政が連携した地域ぐるみの学校づくりに取り組むとともに、生まれ育った地域に愛着、誇りを持ち、明るく元気な子どもが育つまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
幼稚園・学校に行くのが楽しいと思う子どもの割合	86.9%	90.0%	令和3年度数値は幼稚園児98.9%・小学生84.0%・中学生77.8%の平均値

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	87.0	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績	84.8										
達成率	97.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	A										

主な取組

①就学前教育の充実

◇子どもたちが遊びと学びの連続性を確保するため、保育所（園）・幼稚園・こども園・小学校の連携を推進します。
◇グローバル社会に対応し、多様な文化に触れながら豊かな心を育むため、就学前の段階からの国際交流を推進します。

②義務教育の充実

◇確かな学力を身につけ豊かな心を育むため、教職員研修の充実等、教職員の資質・能力向上を図ります。
◇学力の定着や教育内容の充実を図るため、家庭学習の支援及び小中一貫教育を推進します。
◇性別、国籍、障害の有無、生まれた環境等に関わらず自他を尊重できる子どもを育成するため、人権教育や外国語教育等を推進します。
◇いじめや不登校、問題行動等の生徒指導上の問題解決に注力するため、教育相談体制と子どもの心のケアの充実を図ります。

③安全・安心な教育環境づくり

◇すべての家庭が安心し、育てる喜びを感じることができるようにするための子育て・子育ち支援の充実を図ります。
◇柔軟で創造的な学びに対応することができる教育環境の整備を図ります。
◇保護者や地域との連携による通学路の安全確保や、学校の防犯機能強化、避難訓練の実施等による子どもの安全確保を推進します。
◇防災拠点や地域コミュニティ拠点となる機能の付加や学校を核として各主体をつなぐ教育コミュニティ拠点となる開かれた学校づくりを行います。
◇子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化、自然の恵み、勤労の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図ります。

掲載事業一覧 【所管部】

1-4-②　教育推進事業 【教育部】
1-4-②　学力向上推進事業 【教育部】
1-4-①、②　JETプログラム事業 【教育部】
1-4-②　就学援助事業（小学校）【教育部】
1-4-②　就学援助事業（中学校）【教育部】
1-4-③　小中一貫教育推進事業 【教育部】
1-4-③　施設保全整備事業（小学校）【教育部】
1-4-③　小学校給食提供事業 【教育部】
1-4-③　施設保全整備事業（中学校）【教育部】
1-4-③　中学校給食提供事業 【教育部】
1-4-③　施設保全整備事業（幼稚園）【教育部】

所管部局評価

【教育部】
取組①
・就学前教育については、学校教育への円滑な接続を行うため、保幼こ小連携会議を開催し、生活・遊びから学びにつながるための取組の交流を進め、幼稚園等の就学前施設と小学校の連携を深めることができた。今後も引き続き、部局を超えた連携を進めていく。
・国際交流員（JET-CIR）を就学前施設へ年間を通じて170日程度派遣し、様々な国の言葉、歌、遊び、食べ物などの紹介をすることにより、就学前の子どもの国際交流を推進することができた。今後も、保護者アンケートで集約できた意見や就学前施設の子ども・教職員のニーズに応えられるよう、丁寧に協議調整を行いながら、子どもたちの発達年齢に応じた国際交流の取組を進めていく。

取組②
・義務教育の充実については、教職員研修の実施や学校教育アドバイザーが市内16校園を年間180回程度訪問し、生徒指導や学習指導の観点で、管理職等中心に指導・助言を行った。さらに、講師や経験年数の浅い教員の授業観察等を行い、直接的・個別的にのべ394人の指導助言を実施したことにより、教職員の資質能力向上、学力向上を推進し、教育課程への理解を深めることができた。今後とも、計画的な研修の実施に加え、各校の実態に応じて日常的なOJTを推進することにより、教職員全体の指導力の向上につとめ、学校全体でチームとして取組を進めていく。
・学力向上施策については、泉南市学力向上プランや泉南っ子日本一宣言を策定することにより、取組の方向性を明確化することができた。また、新たに民間作成教育検査を実施することにより、教職員の資質能力の向上、授業改善対策に着手することができた。今後は、学力向上プランが成果の検証を令和8年度末としているため、令和6年度以降も各事業を継続して推進していく。
・人権教育については、人権教育推進計画に基づき、各学校において個別人権課題に関する学習を実施したことにより、人権教育を深化させることができた。また、外国語教育については、すべての小中学校でALTを活用した外国語・英語の授業を行うことで、楽しみながら外国語の学習を行うことができた。ただし、数年間続いたコロナ禍により人権教育に関して教職員が学ぶ場が少なくなっていたことをふまえ、個別人権課題に関する研修や研究授業の充実に向けて取り組んでいく。

取組③
・学習環境の改善に向けて、小中学校と幼稚園の13施設で照明器具のLED化を実施した。引き続き、学校と幼稚園施設の機能確保、保持のために、継続して必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などに努める。
・子どもが学校給食を通じて、食事のマナーを学び、準備・後片付けを通して社交性の精神を学習することができた。今後は、地産地消の取組を進め、郷土料理や伝統食を学校給食で喫食できるよう努め、食文化の大切さを知る学習に繋げていく。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　4 就学前教育・学校教育

○ 主な取組　② 義務教育の充実

事務事業名	教育推進事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
学力向上に向けた授業改善の推進や学習指導要領の着実な実施に向けて、教育課程への理解を深める。児童・生徒が安心して学校に通えるよう生活指導、生徒指導の充実を図り、小中一貫教育やギガスクール構想へのICT支援を推進する。

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	指導課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	3
ハード			細目	01-教育推進事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				

「小学校・中学校学習指導要領」（文科省）、泉南市教育振興基本計画、生徒指導提要（令和4年12月　文科省）

施策に関する成果指標

指標名	全国学力学習状況調査の全国平均値												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	
	実績	88.4											
	達成率	96.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	（資質能力向上） 学校教育アドバイザーが各学校園を訪問し、週4回は主に、学習指導等の指導・助言を行い、週1回は主に生徒指導に関する指導・助言を行ってきた。また、オンラインによる講座を年間4回行った。 （学力向上） 大阪府教育庁SE推進事業の一環として、砂川小学校・一丘中学校・西信達中学校のそれぞれで学校公開を実施した。市内の全教職員が現地参加・オンライン参加した。 （教育課程への理解） 担当指導主事が年2回、全校訪問し教育課程の実施状況や編成の工夫等についてヒアリングを行った。

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

事業の財源				
決算額	100,611千円	国庫支出金	0千円
		府支出金	15千円
		市債	0千円
		その他	2,456千円
決算書ページ	284ページ	一般財源	98,139千円

職員数/人件費					
正職員	7.40人	正職員以外のその他職員	1.00人	62,076千円

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		＜改善内容＞		事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
Check 3	（資質能力向上） 生徒指導対応の視点で管理職や生徒指導担当者へ年間94回の学校訪問を行い、助言指導を行った。また、主に経験年数の浅い教員や講師を対象に、授業観察や学習指導や学級経営における指導助言を行ったため、より実践的な指導を行うことができている。年間のべ335人の講師を対象に指導助言できた。オンライン講座については、参加のしやすさもあるが、対面で協働的な学びになるようなスタイルの必要性を感じる。 （学力向上） 学校公開に全教職員が参加したことで、市としての方針を示すことができた。また、授業後に大学教授に講演を行ったことで教員の知見を深めることができた。学校公開で学んだことについて各校で今後の計画を立てる必要がある。 （教育課程への理解） 指導主事が助言することで各校で教育課程の見直しが進んでいる。教育課程を編成する際に、カリキュラムマネジメントの観点が必要である。			1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	毎年度、学校訪問・授業観察を行い、管理職等への具体的な指導助言を行う。 若手教員に対して、対面での研修を実施する。その際の講師として、本市の指導教諭に依頼する。初任者研修等にも指導教諭を活用していく。 TM校は公開授業を実施し、自校の実践について広く周知する。参加者も自校の実践へ役立てる。 また児童生徒に対して認知能力テストを実施し、授業づくりを進めていく。 教育課程の確実な実施を目指して、各校へヒアリングを行う。その際にカリキュラムマネジメントの視点を大事にした指導計画を作成するよう、助言を行う。	

（資質能力向上）
引き続き、学校訪問や授業観察を行い、管理職等への具体的な指導助言を行うとともに、主に経験年数の浅い教員や講師を対象に、オンラインではなく、対面での研修を実施する。お互いの意見交流や指導教諭を活用し、より実践的な研修を行う。
（学力向上）
引き続き、公開授業を通じて、他校から学んだ好事例を自校に持ち帰り、授業改善に役立てる機会を設ける。また認知能力テストを実施し、その結果分析をいかして、授業づくりを進めていく。
（教育課程）
ヒアリングを通じて、計画通り行われているか進捗確認を行うとともに、各校の特色ある取組をいかせるようカリキュラムマネジメントの観点で指導助言を行う。また、働き方改革や授業の質向上の観点からも、余剰時間に関する扱い方の指導助言も行う。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	② 義務教育の充実

事務事業名	学力向上推進事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 令和4年度の全国学力・学習状況調査では「知識・技能」の習得に課題が見られた。そこで、AIドリルで個別最適化された問題に取り組み「知識・技能」の確実な習得を図る。 また、民間作成教育検査を実施することで、その効果検証を行う。		1 4 16

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	学力向上対策室			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	1	3
ハード			細目	05-学力向上推進事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
「小学校・中学校学習指導要領」（文科省）、泉南市教育振興基本計画、生徒指導提要（令和4年12月　文科省）						

施策に関する成果指標

指標名	全国学力学習状況調査における小中学校算数・数学・国語の「知識・技能」全国平均値に対する割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	90.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	
	実績	89.8											
	達成率	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	○基礎基本の定着、家庭学習の充実 ・AIドリルの導入(7月導入) ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・14校、小2～中2の児童生徒に実施 ・民間作成教育検査に係る研修の実施（学校実施5回・動画による実施4本） ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「泉南っ子日本一宣言」を策定			
事業の財源	決算額 7,528千円	国庫支出金	2,510千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,510千円	
	決算書ページ 286ページ	一般財源	2,509千円	
職員数/人件費	正職員 2.10人	正職員以外のその他職員 1.00人	19,007千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ○AIドリルの活用について ・ログイン延べ人数や平均実施ドリル数などの活用状況は徐々に向上してきている。特に小学校の平均実施ドリル数は高い状況である。 ・課題は、小学校に比べると中学校の平均実施ドリル数の割合は高くないことがあげられる。 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・児童生徒理解、授業改善の視点として効果的なものであるという認識が進んだ。 ・課題は、導入初年度として、結果の活用方法等が教員に十分浸透しきっていなかったことがあげられる。 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・泉南市全小中学校の子どもの声を集約した成果物が完成した。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ ○AIドリルの活用について ・好事例の共有、情報発信 ○民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進 ・推進校を指定し、大学教授等との共同研究による授業改善・学力向上の推進 ・活用方法等研修の実施 ○学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業 ・「泉南っ子日本一宣言」の姿を具現化する事業の実施	令和7年度以降の事業の方向性と取組			備考
		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
		1 現状維持	○	・AIドリル事業は、令和7年度末までの長期継続契約にて契約する。 ・民間作成教育検査の実施等による授業改善・学力向上の推進事業、学力の基盤となる認知能力・非認知能力の育成を目指した啓発事業は、令和8年度末までの継続事業として計画している。 ・大学教授等との共同研究事業は、令和7年度以降も継続して実施する。	
		2 見直して継続			
		重点化			
		手段改善			
		効率化（コストダウン）			
		規模縮小			
		事業統合			
		3 休止・廃止			
		4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる　再掲
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	② 義務教育の充実　① 就学前教育の充実
事務事業名	JETプログラム事業
事業に関連するSDGs	4 質の高い教育をみんなに / 10 人や国の不平等をなくそう

＜事業概要＞
JETプログラムを活用して全小中学校にALT(外国語指導助手)を1名以上配置することで英語教育の充実を図る。また・幼稚園・保育園所・認定こども園にCIR(国際交流員)を派遣することで幼児期からの国際交流を推進する。
CIR/ALT/SEAを市民との交流のために派遣し・市内での国際交流を推進する。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	人権国際教育課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	1	4
ハード			細目	02-JETプログラム事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			

泉南市人権尊重のまちづくり条例, 泉南市人権行政基本方針, 人権教育基本方針, 人権保育基本方針, 泉南市子どもの権利に関する条例, 教育振興基本計画

施策に関する成果指標

指標名	児童生徒の国際交流内容の満足度評価(%)90%以上												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	%	
	実績	89											
	達成率	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容（年次計画）Plan 1 / （実績）Do 2	【翻訳・通訳（CIR）】（延べ184回） ①外国にルーツがある方が来庁された際の手続の通訳補助や必要書類の翻訳 ②学校での配付物の各種言語への翻訳 ③学校での懇談会等における通訳 【多文化共生・国際交流】（延べ374回） ④各小中学校に1名以上各ALTを配置 ⑤保護者研修等への講師派遣（CIR） ⑥幼小中学校における多文化共生の取組への講師派遣（CIR） ⑦市民向けの国際交流活動・講座の実施			
事業の財源	決算額 17,977千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	10,365千円	
	決算書ページ 287ページ	一般財源	7,612千円	
職員数/人件費	正職員 0.98人	正職員以外のその他職員 1.00人	10,296千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組 Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
	翻訳した書類は増加しているが、令和4年度と同程度の翻訳を行い、市民サービスの向上を図ることができた。 また、国際交流に関しては、令和4年度以上の回数を行い、児童生徒はもちろん、就学前施設に通う子どもや市民等にも国際交流活動や多文化共生に関する講義等も行った。 翻訳を通して、外国にルーツのある市民へのサービス向上は一定の基盤が整いつつあるが、実際に悩みを抱えたときなどの相談窓口としての役割も果たせるように、支援の方策を考えていく必要がある。	＜改善内容＞ 国際交流員が行う相談窓口の周知のため、学校園と連携し、保護者へ働きかける。 国際交流活動は引き続き行うと同時に、令和6年度より開始したCIRによる多文化理解講座についてもよりよい周知の方法を考え、市民へのさらなる普及に努める。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持	海外姉妹都市であるフィリピン・ダバオ市との連携もあり、国際交流の必要性は増すことが予想される。そのような中で、JETプログラムの特性上、CIRの任期が終了し、新しいCIRの雇用の時期となる。 そのため、業務の引継ぎはもちろんのこと、本市のさらなる多文化共生の推進のためにより密な学校園や地域との連携強化が必要となる。市民向けや学校園での国際交流活動に引き続き重点を置き取り組む。	
			2 見直して継続		
			重点化 ○		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	② 義務教育の充実

事務事業名	就学援助事業（小学校）	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 経済的な理由により就学困難な児童や、支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。		1 2 4 16

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	教育サービス課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	2	2
ハード			細目	01-就学援助事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱						

施策に関する成果指標

指標名	学校に行くのが楽しいと思う児童の割合（全国学力・学習状況調査より）											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位
	目標	82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	%
	実績	85.4										
	達成率	103.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	達成度	A										

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	◎就学援助事業 【就学援助費】 支給人数：776人 支給総額：68,579,770円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数：141人 支給総額：4,394,814円 【要保護児童生徒援助費】 支給人数：4人 支給総額：85,403円				
事業の財源	決算額	国庫支出金	1,137千円		
	73,060千円	府支出金	0千円		
		市債	0千円		
		その他	0千円		
	決算書ページ 292ページ	一般財源	71,923千円		
職員数/人件費	正職員 0.40人	正職員以外のその他職員	0.30人	3,971千円	

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 援助内容を国の補助基準額にあわせることで、より保護者に必要な援助が届くよう支給額を変更（増額）する。 また、補助金申請事務についても、対象経費をわける必要がなくなり、事務の効率化につながる。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組	備考
		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
		1 現状維持	○	・経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることができるよう、さらなる制度の周知により、制度の活用促進を目指す。 ・利用者側の利便性の向上、担当課の事務効率の向上等のバランスを考慮しつつ、市民サービス向上を模索する。	
		2 見直して継続			
		重点化			
		手段改善			
		効率化（コストダウン）			
		規模縮小			
		事業統合			
		3 休止・廃止			
		4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　4 就学前教育・学校教育

○ 主な取組　② 義務教育の充実

事務事業名	就学援助事業（中学校）	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 経済的な理由により就学困難な生徒や、支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担軽減のため、学用品・通学用品購入費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資する。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	教育サービス課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	3	2
ハード			細目	01-就学援助事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
学校教育法第19条、泉南市就学援助規則、泉南市就学援助費支給要綱、泉南市特別支援教育就学奨励費支給要綱						

施策に関する成果指標

指標名	学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合（全国学力・学習状況調査より）												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	76.5	77.0	77.5	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	%	
	実績	81.8											
	達成率	106.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	◎就学援助事業 【就学援助費】 支給人数：405人 支給総額：37,978,160円 【特別支援教育就学奨励費】 支給人数：55人 支給総額：3,294,297円 【要保護児童生徒援助費】 支給人数：5人 支給総額：275,578円			
事業の財源	決算額 41,548千円	国庫支出金	959千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 297ページ	一般財源	40,589千円	
職員数/人件費	正職員 0.40人	正職員以外のその他職員 0.30人	3,971千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 援助内容を国の補助基準額にあわせることで、より保護者に必要な援助が届くよう支給額を変更（増額）する。 また、補助金申請事務についても、対象経費をわける必要がなくなり、事務の効率化につなげる。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・経済的理由により、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることができるよう、さらなる制度の周知により、制度の活用促進を目指す。 ・利用者側の利便性の向上、担当課の事務効率の向上等のバランスを考慮しつつ、市民サービス向上を模索する。

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全・安心な教育環境づくり
事務事業名	小中一貫教育推進事業
事業に関連するSDGs	
＜事業概要＞ 小中一貫教育の推進に向け学校再編計画の内容周知、（仮称）西信達義務教育学校の建築検討などを行う。	

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	教育総務課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト			款項目	9	1	2
ハード	○		細目	04-小中一貫教育推進事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			
泉南市立小中学校再編計画（令和5年3月策定）					

施策に関する成果指標

指標名	小中一貫校整備校数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和5年度は、学校の建設に向け地域住民から意見を聴取し、学校基本計画を作成し、民間活力導入可能性検討を行った。
	目標	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	校	
	実績	0											
	達成率	―	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	―											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	（仮称）西信達義務教育学校基本計画策定及び民間活力導入可能性検討業務等を実施 1. 地域住民アンケート ・調査期間：令和5年7月5日から令和5年7月28日まで ・1,037世帯配布、339件回収、回収率32.7% ・令和5年10月5日結果公表 2. 地域住民ワークショップ ・実施時期：令和5年8月から令和5年9月まで ・実施回数：3回、延べ42人参加 ・ワークショップ瓦版発行：3回 3. 泉南市学校施設検討委員会 ・開催時期：令和5年11月から令和6年2月まで ・開催回数：3回 4. 学校基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書作成			
事業の財源	決算額 26,117千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 283ページ	一般財源	26,117千円	
職員数/人件費	正職員 0.40人	会計年度職員 任期付職員 0.00人	3,111千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 1. 地域住民アンケート、地域住民ワークショップ 新しい義務教育学校の目指す姿（コンセプト）や学校に必要な教室・機能等について、地域住民と学校の関わり方などについて、西信達地区住民の意見を確認することができ、泉南市学校施設検討委員会及び学校基本計画の基礎資料とすることができた。 2. 学校基本計画及び民間活力導入可能性検討業務報告書 義務教育学校の目指す姿（コンセプト）、今後の児童生徒数の推移などを整理し、学校に必要な教室や複合化する施設を整理することができた。 建築費が高騰する中、事業費の抑制、財源の確保、実施事業者の募集に向け精査し、事業を進めていく必要がある。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 設計、建設を実施する事業者を募集するため募集要項や要求水準書等は十分に精査した上で作成する。 実施事業者の決定は、泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会を設置し、総合評価一般競争入札方式で実施する予定のため、競争性があり、品質を確保することができる評価基準を設定する必要がある。 事業者を決定し、議案として議会に提案した上で、契約を締結する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	備考
		1 現状維持		契約した事業者と協議し、学校と連携した上で、現在の施設の解体設計、新しい施設の基本設計・実施設計を行う。 また、仮設校舎の建築と第1期除却建物からの移動を行う。	
		2 見直して継続			
		重点化	○		
		手段改善			
		効率化（コストダウン）			
		規模縮小			
		事業統合			
		3 休止・廃止			
		4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全・安心な教育環境づくり
事務事業名	施設保全整備事業（小学校）
事業に関連するSDGs	
＜事業概要＞ 小学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。	

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	教育総務課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト			款項目	9	2	3
ハード	○		細目	01−施設保全整備事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則 、泉南市教育振興基本計画等					

施策に関する成果指標

指標名	LED化が完了した市立小学校数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	校	
	実績	9											
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 学校施設等修繕 ・修繕件数：86件 ・主な内容：給水管、床、天井、屋根、トイレ、照明、電気錠、エアコン、エレベーターなどの修繕 2. 机天板交換 ・交換枚数：419枚 ・実施校数：2校（東小学校、砂川小学校） 3. 工事設計委託 ・各小学校空調設備工事設計委託：8校 ・トイレ改修工事設計委託：1校（東小学校） 4. LED照明器具借上 ・実施校数：9校 5. 体育館屋根塗装改修工事 ・実施校数：1校（東小学校）			
事業の財源	決算額 41,113千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	29,100千円	
		その他	1,190千円	
	決算書ページ 292ページ	一般財源	10,823千円	
職員数/人件費	正職員 0.55人	会計年度職員 任期付職員 0.00人	4,277千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. 机天板交換は、現行の机より大きな天板サイズに交換することで教育環境の向上につなげることができた。引き続き全児童の机天板交換に向け事業を継続する必要がある。 3. 工事設計は、予知していた内容を完了することができたため、次年度予算を確保し業務を実施する。 4. LED照明器具借上は、予定していた小学校9校全ての照明器具をLED化することができた。 5. 体育館屋根塗装改修工事は、予定していた工事を完了することができた。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 1. 昨年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 昨年度に実施した設計業務の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、設計業務を実施する。 3. 机天板交換の交換台数を増加させ交換を実施する。 4. 小学校屋内運動場強力空調設備設置工事に向けた設計を行う。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持	○	1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 小学校屋内運動場強力空調設備設置工事を実施する。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせるまち
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全安心な教育環境づくり

事務事業名	小学校給食提供事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 市立小学校に在籍する児童に栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する		2 4 7 8 12

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	教育総務課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	2	4
ハード			細目	02-小学校給食提供事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			
教育大綱、教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画					

施策に関する成果指標

指標名	給食を満足と感じている児童の割合											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	%	
	実績	93.0											
	達成率	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化の大切さを理解するため安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 （年次計画） 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊かな人間性を育むことができるよう、市内10小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 （実績） 年間を通して、各小学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 年間提供日数 192日　給食提供数 625,513食			
事業の財源	決算額 263,570千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	89,300千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 294ページ	一般財源	174,270千円	
職員数/人件費	正職員 3.00人	正職員以外のその他職員 2.00人	29,258千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ＜成果＞ 令和5年4月から5月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和5年6月から令和7年3月までの学校給食費の無償化を実施することにより原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化するなかで、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。食育を推進することで、成長期における食生活の重要性・食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 ＜課題＞ ①食材費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。 ②地元食材を提供するために生産者、生産者組合及び本市農林水産担当課との連携が必要である。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ ①令和6年4月分から令和7年3月分の給食費を一部補助することにより、児童の保護者負担を軽減する。 ②令和7年9月からの食缶デリバリー方式による小学校給食の提供開始に向けて、在籍小学校児童及び新入学生に対して食物アレルギー調査を実施し、安全・安心に喫食できる給食提供体制を整える。 ③牛乳パックリサイクルの取組及び牛乳のストローレス化を実施することにより、環境に配慮する。 ④食の大切さを再認識するための食育を推進する。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ①食缶デリバリー方式による小学校給食の提供開始に向けた給食の試行を実施するとともに、学校側との綿密な調整を図る。 ②牛乳パックリサイクルの取組及び牛乳のストローレス化を一層推進することにより、環境に悪影響を与えるプラスチックごみを削減し、環境問題改善の一部に寄与する。 ③食の大切さを再認識するための食育の推進に取り組む。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全・安心な教育環境づくり
事務事業名	施設保全整備事業（中学校）
事業に関連するSDGs	

＜事業概要＞
中学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	教育総務課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト			款項目	9	3	3
ハード	○		細目	01−施設保全整備事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			

学校教育法、泉南市立学校管理運営に関する規則 、泉南市教育振興基本計画等

施策に関する成果指標

指標名	LED化が完了した市立中学校数											備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	校	
	実績	3											
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容（年次計画）Plan 1	1. 学校施設等修繕 ・修繕件数：50件 ・主な内容：天井、外壁、屋根、照明、舗装、防火扉、消防設備などの修繕 2. 委託業務 ・西信達中学校耐力度調査 ・西信達中学校用地測量調査 3. LED照明器具借上 ・実施校数：2校 4. 工事設計委託 ・各中学校空調設備工事設計委託：2校			
（実績）Do 2				
事業の財源	決算額 43,260千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	10,400千円	
		その他	464千円	
	決算書ページ 298ページ	一般財源	32,396千円	
職員数/人件費	正職員 0.60人	会計年度職員 任期付職員 0.05人	4,829千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 1. 学校施設の機能確保、保持のために必要な保全及び教育環境改善に向けた修繕、工事、設計業務などを行った。 2. （仮称）西信達義務教育学校建設に向け委託業務を行った。 3. LED照明器具借上は、予定していた中学校2校全ての照明器具をLED化することができた。 4. 工事設計は、予知していた内容を完了することができたため、次年度予算を確保し業務を実施する。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 1. 令和5年度に引き続き、学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 昨年度に実施した設計業務の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 中学校屋内運動場強力空調設備設置工事に向けた設計を行う。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持 ○	1. 学校施設の機能確保、教育環境改善に向けた修繕を行う。 2. 設計業務完了分の工事を実施する。また、施設機能を保持するために必要工事の内容を精査し、工事設計業務を実施する。 3. 中学校屋内運動場強力空調設備設置工事を実施する。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせるまち
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全・安心な教育環境づくり

事務事業名	中学校給食提供事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 市立中学校に在籍する生徒に栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供する		2 飢餓ゼロ　4 質の高い教育　7 エネルギーをみんなに　8 働きがいも経済成長　12 つくる責任 つかう責任

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	教育総務課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	3	4
ハード			細目	01-中学校給食提供事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
教育大綱、教育振興基本計画、公共施設最適化推進実施計画、公共施設等個別施設計画						

施策に関する成果指標

指標名	給食を満足と感じている生徒の割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	75	77	81	82	83	84	84	84	84	84	%	
	実績	77											
	達成率	102.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	子どもの健やかな心身の育成や、食を通じて地域や文化の大切さを理解するため、安全・安心な学校給食の提供と食育の推進を図る。 （年次計画） 子どもたちが、健全な食習慣を身につけて、健康で豊な人間性を育むことができるよう、市内4中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 （実績） 年間を通して、各中学校へ安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供できた。 給食提供日数 191日　給食提供数 285，397食			
事業の財源	決算額 145,543千円	国庫支出金	49,223千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 298ページ	一般財源	96,320千円	
職員数/人件費	正職員 3.00人	正職員以外のその他職員 2.00人	29,258千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ＜成果＞ 令和5年4月から5月までの学校給食費に対して一人あたり500円の補助を行うとともに、令和5年6月から令和7年3月までの学校給食費の無償化を実施することにより原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯を支援することができた。 食の大切さと感謝の心を育む教育の一環として、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることができた。 食生活が多様化するなかで、郷土料理や伝統食を学校給食で提供することにより、「生きた教材」として食文化の大切さを学ぶことができた。食育を推進することで、成長期における食生活の重要性・食生活と生活習慣病の関係について理解することができた。 ＜課題＞ ①食材費が高騰する中で、学校給食を安定的に供給する必要がある。 ②食物アレルギーが多様化しているため、個別の状況に応じて丁寧に対応する必要がある。 ③地元食材を提供するために生産者、生産者組合及び本市農林水産担当課との連携が必要である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組	備考
		＜改善内容＞ ①令和6年4月分から令和7年3月分の給食費を一部補助することにより、生徒の保護者負担を軽減する。 ②牛乳のストローレス化を実施することにより、環境に配慮する。 ③食の大切さを再認識するために食育を推進する。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持 ○	①牛乳のストローレス化を一層推進することにより、環境に悪影響を与えるプラスチックごみを削減し、環境問題改善の一部に寄与する。 ②食の大切さを再認識するための食育の推進に取り組む。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	4 就学前教育・学校教育
○ 主な取組	③ 安全・安心な教育環境づくり

事務事業名	施設保全整備事業（幼稚園）	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全及び保育教育環境改善に向けた修繕・工事などを行う。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	教育総務課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト			款項目	9	4	3
ハード	○		細目	01−施設保全整備事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
学校教育法、泉南市教育振興基本計画等						

施策に関する成果指標

指標名	LED化が完了した市立幼稚園数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	園	
	実績	2											
	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 幼稚園施設等修繕 ・修繕件数：9件 ・主な内容：屋根、防火シャッター危険防止装置、消防設備、エレベーター、フェンスなどの修繕 2. LED照明器具借上 ・実施園数：2園			
事業の財源	決算額 4,111千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	116千円	
	決算書ページ 302ページ	一般財源	3,995千円	
職員数/人件費	正職員 0.35人	会計年度職員 任期付職員 0.05人	2,885千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 1. 幼稚園施設の機能確保、保持のために必要な保全及び保育教育環境改善に向けた修繕などを行った。 2. LED照明器具借上は、予定していた幼稚園2園全ての照明器具をLED化することができた。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 令和5年度に引き続き、幼稚園施設の機能確保、保育教育環境改善に向けた修繕を行う。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	備考
				1 現状維持 ○	
				2 見直して継続	
				重点化	
				手段改善	
				効率化（コストダウン）	
				規模縮小	
				事業統合	
				3 休止・廃止	
				4 完了	

事業の方向性と取組の内容
幼稚園施設の機能確保、保育教育環境改善に向けた修繕を行う。

第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	5	生涯学習・スポーツ・青少年健全育成	

目指すまちの姿	誰もが生涯学習と健康なからだづくりを楽しめる、心豊かな生活と学びを支えるまち
	生涯学習の充実や子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり、家庭や地域の見守りや支援を通じた青少年の健全な成長を促進し、市民の生きがいや健康づくりにつなげ、豊かな心を育み楽しく学び、活動ができるまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
人口一人当たりの生涯学習施設の年間利用回数	2.6回	3.9回	生涯学習施設（市民体育館、双子川テニスコート、市民球場、図書館、文化ホール、公民館、青少年センター）

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	
実績	3.8										
達成率	127.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	A										

主な取組

①生涯学習の推進

◇生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供を行います。
◇関係団体の活動・発表・交流の場や機会の提供等、生涯学習活動の支援を行います。
◇読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、楽しみながら読書活動ができる環境の整備を図ります。

②スポーツ活動の推進

◇地域資源を活用したスポーツイベントの実施や開催支援、国際大会の誘致等、その経験や国際協力関係をいかした生涯スポーツ社会の実現に寄与します。
◇スポーツ、芸術、文化の分野で将来にわたり活躍が期待できる人を支援します。
◇あらゆる世代を通じたスポーツを楽しむ環境づくりや、泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）等を活用したスポーツイベントを展開します。

③青少年の健全育成

◇地域全体で子ども・青少年の健やかな育成に取り組む機運を高め、学校園を含む関係組織や団体との連携による子どもの居場所の確保と青少年の健全育成に取り組みます。
◇留守家庭児童会運営事業の充実、強化を図ります。

掲載事業一覧 【所幹部】

1-5-①　公民館運営事業 【教育部】

1-5-①　図書館運営事業 【教育部】

1-5-①　文化ホール指定管理事業 【教育部】

1-5-②　国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業（夢の教室）【教育部】

1-5-②　国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 【教育部】

1-5-③　泉南っ子応援事業 【教育部】

1-5-③　青少年センター運営事業 【教育部】

1-5-③　留守家庭児童会運営事業 【教育部】

所管部局評価

【教育部】
取組①
・公民館運営事業については、市内4公民館を、良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を行い、事務局としてクラブ協議会等団体の育成、クラブ活動成果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供することができた。ただし、クラブ員の高齢化、会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退などの問題について、どのような支援が可能かを検討し、次年度以降取り組みを進めていく。

・図書館運営事業については、資料の収集、整理、貸出や調査相談等を行うとともに、各種事業を実施し読書活動ができる環境づくりに努めた。一方で、各年代向けのサービスと図書館からの情報発信をより強化し、地域の情報拠点としての役割を果していく必要があると認識しているため、今後とも各事業を継続、発展させ、図書館が市民の大切な居場所となるよう、多様なサービスを提供する取り組みを進めていく。

・文化ホール指定管理事業については、指定管理者が適切な維持管理、運営を行うことにより、施設が適切に維持され、また自主事業は様々な団体と連携して事業を展開することで市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興が図られた。今後ともに市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる必要があると認識しており、様々な団体と連携した事業を展開していく。ただし、開館から40年が経過し、施設は老朽化しており、利用者の安全、安心に関わる施設修繕、更新を進めていく。

取組②
・国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業（夢の教室）については、継続して実施してきたが、改めて令和6年度からアンケートを実施し、指標達成に向けて計画的に事業を進める必要があると認識している。
・国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業については、オープンウォータースイミング泉南大会への参加者が目標値を50%上回る実績値となった。今後は、引き続き広報等や賑わいの創出に努め、参加者の増加、ひいては2027年のワールドマスターズゲームズの機運醸成につなげていく。

取組③
・泉南っ子応援事業については、目標値を45%上回る実績となった。引き続き本事業の周知に努め、子どもへの支援を通じてさらなるスポーツの振興に努める。
・青少年センター運営事業については、講座講習、自主事業、小学校での元気広場事業を円滑に実施することができた。引き続き、青少年の健全育成を推進していくため、学校園・地域のボランティア等の協力を得ながら、子どもを見守る機運の醸成を図り、子どもが安全で安心して過ごせる居場所づくりに努めていく。
・留守家庭児童会運営事業については、児童にとってより安全安心な児童会となるよう、今後の在り方を含めた検討を進める。また、令和6年度にアンケートを実施し、その結果を活用して利用者の満足度の向上と事業の強化に取り組む。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成
○ 主な取組	① 生涯学習の推進
事務事業名	公民館運営事業
事業に関連するSDGs	4

＜事業概要＞
講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	文化振興課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	5	8
ハード	○		細目	02-公民館運営事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			
社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画					

施策に関する成果指標

指標名	人口一人当たりの公民館の年間利用回数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 36,604人
	目標	0.45	0.45	0.45	0.50	0.50	0.50	0.55	0.55	0.55	0.60	回	
	実績	0.63											
	達成率	140.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 年間利用者数 樽井（10,493人）・信達（9,291人）・新家（13,114人）・西信達（3,706人）：計36,604人 2. 年間利用件数 樽井（698件）・信達（1,006件）・新家（1,213件）・西信達（510件）：計3,427件 3. 登録クラブ数 樽井（16団体）・信達（35団体）・新家（33団体）・西信達（10団体）：計94団体 4. 公民館における文化活動、自主事業等の開催回数：9回 5. 自習室開設実績及び参加人数 夏期：7月21日～8月24日・開設日数：29日・利用者合計16人 春期：3月23日～4月7日・開設日数：14日・利用者合計4人 6. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 樽井（6月24日：26人・12月10日：29人）・信達（6月25日：33人・12月10日：31人）・新家（7月2日：29人・12月9日：43人）・西信達（6月24日：17人・12月9日：43人）：計222人			
事業の財源	決算額 13,321千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,616千円	
	決算書ページ 312ページ	一般財源	10,705千円	
職員数/人件費	正職員 3.04人	会計年度職員 任期付職員	3.96人	39,788千円

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、樽井公民館において照明器具すべてをLED化を行う一方、その他については、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。また、国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類移行に伴い、各部屋の定員制限等を完全に撤廃、撤去した。 ・クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。特に、公民館まつりについては、コロナ禍以降、3館すべてで通常の形で開催することができ、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報紙やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館にあるクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで、自主的な文化・芸術活動を支援した。一方、クラブ員の高齢化、コロナ禍後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対してどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する必要がある。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ ・クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少などにどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・事務局として公民館クラブ協議会等へのバックアップを行い、確実に公民館まつりを開催する。 ・公民館クラブ員の高齢化、部員や加盟団体減少に対して、クラブ協議会等の再構築検討を行う。 ・協議会等の現状況や問題点を整理し、規約改正をうながし、再活性化を行い、脱退したクラブに働きかけ、再加盟を促進する。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編室と連携して、施設の複合化等の検討を深める。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成

○ 主な取組　① 生涯学習の推進

事務事業名	図書館運営事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。		

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	文化振興課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	5	9
ハード			細目	02-図書館運営事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
図書館法、泉南市教育大綱、教育振興基本計画、泉南市子ども読書活動推進計画					

施策に関する成果指標

指標名	人口一人当たりの図書館の年間利用回数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 89,591人
	目標	1.30	1.40	1.50	1.55	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	回	
	実績	1.53											
	達成率	117.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	図書館運営事業として資料の収集、整理、貸出や調査相談等を行うとともに、以下の事業を実施した。 ・自動車図書館の運営（定例17箇所は月2回ずつ、特別巡回22回） ・社会見学、職業体験、調べ学習等の受け入れ（25回） ・定例行事（乳幼児おはなし会24回154人、えほんタイム12回136人、紙芝居会21回108人、おはなしひろば3回46人） ・子ども読書週間事業（こどもまつり32人、せんなんキャラクターぬりえ配布） ・秋の読書週間事業（リサイクル市632人、ボランティア共催お楽しみ会79人） ・冬休み企画（POP付おすすめ本展、絵本の福袋、せんくまをさがせ！） ・特別行事（地域講座37人、実用講座16人、おはなしひろば3回46人、夏祭り2回79人、クリスマス会42人） ・市民協働事業（ジュニア司書クラブ24回、図書館応援団活動4グループ計100回、ブックスタート12回、きらめきサポーター42回） ・連携事業（出張おはなし会5回、出張絵本講座7回、泉南市子育てフォーラム、夏休み子どもの居場所づくり事業） ・特集展示（非核平和、防災、人生会議等、年間120以上のテーマで実施） ・自習室の開設（242日、1466人）

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

事業の財源				
決算額	19,456千円	国庫支出金	0千円
		府支出金	330千円
		市債	0千円
		その他	121千円
決算書ページ	314ページ	一般財源	19,006千円

職員数/人件費					
正職員	2.40人	正職員以外のその他職員	10.41人	47,245千円

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ・自動車図書館の運営については、高齢者施設への巡回場所を追加し、計17箇所への月2回の定期巡回を実施した。また学校、園、地域フォーラム等への特別巡回を行い、来館が困難な方への貸出等のサービスを提供することができた。課題は、車両の老朽化である。 ・国による新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類移行に伴い、行事や自習室の定員数、市民ボランティアの活動状況を通常に戻せたことで、多くの方に参加していただくことができた。幅広い年代層へ、さらなる利用促進のため、図書館からの情報発信の強化が必要である。 ・関係各課、団体と連携した事業や市民協働事業の中で、ボランティアや小中学生の意見を反映した事業を行い、効果的な運営を行った。 ・老朽化した施設の維持管理のため、小荷物専用昇降機や集密書架の修繕等、施設の維持管理を行った。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ ・自動車図書館の安定したサービスの維持、提供のため、車両更新の検討を行う。 ・地域の情報拠点として、子どもから高齢者の方まで、幅広い層への情報発信の強化のため、各年代向けのサービスの充実と、図書館のウェブサイトのみでなく、あらゆる情報提供の場を活用した広報を行う。 ・関係各課、団体と連携した事業、市民協働事業を今後も継続、発展させ、図書館が市民の大切な居場所となるよう、多様なサービスを提供する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持　○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 ・引き続き、市民の生涯学習活動や教養文化の向上を支援するため、資料や情報の収集と提供、調査相談などを行う。地域の情報拠点となる居場所づくり、及び学習機会を提供する。 ・施設の在り方については、公共施設再編室と連携して、施設の複合化等の検討を深める。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成
○ 主な取組	① 生涯学習の推進

事務事業名	文化ホール指定管理事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 指定管理者制度による運営及び施設の維持管理及び実施事業を通じ、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。		4

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	文化振興課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	5	9
ハード	○		細目	03-文化ホール指定管理事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			
泉南市教育大綱、教育振興基本計画					

施策に関する成果指標

指標名	人口一人当たりの文化ホールの年間利用回数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和6年3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 27,752人
	目標	0.30	0.35	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.60	0.60	0.60	回	
	実績	0.47											
	達成率	156.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 指定管理者との意見交換会等の協議回数　11回 2. 年間利用者数 ・ホール、関連諸室　490件、20,572人 ・展示室　204件、7,180人 3. 自主事業実施数 ・ホール　7件、2,736人（市民合唱祭、こどもたちのためのコンサート、敬老月間企画「魅惑の歌謡劇場」、ふれあいコンサート2回、人権週間「市民の集い」、フラダンス発表会） ・展示室　3件、663人（市民作品展2回、舞劇団きらめき公演） 計10件、3,399人 4. 施設の修繕等（教育委員会実施分） ロビー照明の増設、楽屋トイレ洋式化、非常警報設備や小荷物専用昇降機の修繕 5. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 12月15日、3月7日　参加者計25人

事業の財源			
決算額	35,744千円	国庫支出金	0千円
		府支出金	0千円
		市債	0千円
		その他	0千円
決算書ページ	315ページ	一般財源	35,744千円

職員数/人件費					
正職員	0.18人	正職員以外のその他職員	0.00人	1,400千円

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
Check 3	・貸館事業では、5月に国による新コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類に移行したことで、一定の制限はなくなったが、最低限度の感性症対策は行いつつ良好な管理運営を行った。 ・自主事業等については、指定管理者単独事業の他に、各種団体等と連携し、多くの市民に文化行事に触れる機会を提供することができた。 ・施設の維持管理については、指定管理者が仕様に基づき適切に実施し、リスク分担により、修繕については緊急性の高いものか順次行った。 ・指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化を行った。	＜改善内容＞ ・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。 ・地域の関係団体との連携を拡げ、より一層市民の文化芸術活動の促進を図れるよう工夫する。 ・利用者が安全・安心にサービスを利用できるよう適切に施設の維持管理を行う。 ・引き続き、指定管理者と教育委員会文化振興課との定期的意見交換会等の協議開催により、お互いの意思疎通を図り、施設や事業のチェック体制強化を行う。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持	○	・引き続き、市民生活の向上と文化及び芸術の普及、振興を図るため、市民が多様な文化や芸術にふれる機会を充実させる。 ・施設の在り方については、公共施設再編室と連携して、施設の複合化等の検討を深める。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成
○ 主な取組	② スポーツ活動の推進

事務事業名	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業（夢の教室）	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 元プロスポーツ選手などを招聘し、実体験に基づく授業を通じて、夢を持つことの大切さや失敗を乗り越えて夢や目標に向かって努力する意識を育む。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	生涯学習課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	5	4
ハード			細目	05-国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				

施策に関する成果指標

指標名	授業を受けて夢や目標に向かって努力することの大切さへの意識が向上した割合												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年度から アンケート実施予定
	目標	－	32	32	35	35	38	38	40	40	40	%	
	実績	－											
	達成率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	－											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、市立中学校の4校の2年生全15クラスを対象に6～7月にかけて授業を行った。			
事業の財源	決算額 2,027千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,027千円	
	決算書ページ 306ページ	一般財源	0千円	
職員数/人件費	正職員 0.50人	正職員以外のその他職員	0.00人	3,889千円

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 毎年実施しているFA主体の事業実施後アンケートが令和5年度は実施されず、指標達成度を図ることができなかった。令和6年度からは、市主体とする事業実施後アンケートを予定しており、目標達成に向けて事業を進める。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 令和6年度より市主体の事業実施後Googleアンケートを実施し、生徒の夢や目標に向かって努力することの大切さへの意識が向上した割合を図る。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持 ○	令和7年度以降も市主体の事業実施後アンケートを実施し、目標達成度に応じて随時JFAと相談しながら、授業内容や授業形態を検討する。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成
○ 主な取組	② スポーツ活動の推進

事務事業名	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 市民に健全なスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供し、市民の健康の増進と明るく豊かな市民生活の向上を図る。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	生涯学習課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	6	2
ハード			細目	02-国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市教育振興基本計画						

施策に関する成果指標

指標名	泉南オープンウォータスイミング大会の参加者数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	200	460	600	700	800	900	1,000	1,000	1,000	1,000	件	
	実績	301											
	達成率	150.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」創造事業 本市におけるマリンスポーツの核として泉南オープンウォータースイミング大会を位置づけ、これを開催支援することで、タルイサザンビーチをマリンスポーツの拠点として内外に発信し都市魅力の向上に努める。 令和5年10月1日（日）泉南オープンウォータスイミング大会2023を開催 参加申込数327名、当日参加者301名			
事業の財源	決算額 2,000千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,000千円	
	決算書ページ 319ページ	一般財源	0千円	
職員数/人件費	正職員 1.00人	正職員以外のその他職員 0.00人	7,777千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和5年度から本大会が日本水泳連盟公認の大会となり、国内オープンウォータースイミングサーキットシリーズの会場として組み入れられることとなった。その効果もあり、参加者は前年と比較して1.5倍に増加することとなった。その一方で、大会の観覧者は参加者の家族などが中心であり、大会自体の盛り上がりに欠けることは否めない。今後は、WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027関西の開催に向けて、幅広い年代に対して競技の周知や魅力を伝える必要があるとともに、会場となるタルイサザンビーチやロングパークに訪れる人々へのPRを進め、大会への参加者の増加や賑わいの創出に努める必要がある。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 大会開催の周知をSNS等を通じて発信し、水泳教室や大学のクラブ等に向けて参加を促す。 大会会場であるタルイサザンビーチと隣接するロングパークを活用し、賑わいづくりの創出に努める。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 WMG(ワールドマスターズゲームズ)2027の開催に向けて、大会参加者の増加に努めるとともに世界大会開催への運営に関するスキルアップを目指す。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成
○ 主な取組	③ 青少年の健全育成

事務事業名	泉南っ子応援事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 国際的規模及び全国的規模の競技会、コンクール等に出場又は出展する本市の子どもに、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付することにより、スポーツ活動の推進、競技力の向上及び文化芸術の振興を図るとともに、全市民が一体となって泉南っ子を応援することで、市全体のスポーツと文化芸術に関する機運を醸成する。		

事業区分		事務事業コード				
新規	○	担当課名	生涯学習課			
継続		予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	5	4
ハード			細目	06-泉南っ子応援事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市教育振興基本計画、泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金等交付要綱						

施策に関する成果指標

指標名	泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金の交付件数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	件	
	実績	29											
	達成率	145.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	国際的規模及び全国的規模の競技会等に出場等する本市の子どもに泉南っ子スポーツ・文化芸術振興奨励金を交付する。 （令和5年度交付実績） 個人-全国　26件 団体-全国　3件			
事業の財源	決算額 1,600千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 307ページ	一般財源	1,600千円	
職員数/人件費	正職員 0.20人	正職員以外のその他職員 0.00人	1,555千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 事業実施初年度ということもあり、市民への周知が十分ではなかった。 一方、交付件数は目標値を大きく上回り、一定の成果はあった。 今後は広報紙やウェブサイト等を活用し、一層の周知を図る必要がある。	令和6年度の改善の取組 ＜改善内容＞ 広報紙・ウェブサイト・市SNSを活用し、事業の周知を図る。 オリンピック等出場枠を設け、事業の拡充を図り、さらなるスポーツの振興につなげる。	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 奨励金を交付することで、全国大会等に出場する本市の子どもの支援とスポーツの振興につなげる。

備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成

○ 主な取組　③ 青少年の健全育成

事務事業名	青少年センター運営事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 講座の開催、自主活動の推進、安全・安心な居場所の提供等、遊びや学びを通じて青少年の健全育成を行います。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	生涯学習課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	5	5
ハード			細目	03-青少年センター運営事業		
市単独		（関係法令・市条例・計画等）				
泉南市立青少年センター及び児童館設置条例、「青少年センターのあり方」についての基本方針						

施策に関する成果指標

指標名	青少年センター関連事業への参加・利用者数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500	9,600	9,700	9,800	9,900	人	
	実績	13,933											
	達成率	154.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 講習講座事業 青少年のニーズやこどもの意見を取り入れた、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会える場を提供する講習講座事業を実施。（23講座実施、延べ892人参加） 2. 自主活動事業 青少年が青少年センターの運営の一端を担うとともに、地域をステージに自主的な活動を行ったり、まちづくりに参加参画したりする自主活動事業を実施。（6事業実施、延べ534人参加） 3. 元気広場事業 青少年センターや市民交流センター、各小学校において、青少年が安全で安心な居場所となる子ども元気広場推進事業を実施。（延べ648日実施、延べ12,507人参加）			
事業の財源	決算額 1,816千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	370千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
	決算書ページ 308ページ	一般財源	1,446千円	
職員数/人件費	正職員 2.00人	会計年度職員 任期付職員 3.30人	27,898千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 青少年センターのあり方基本方針に沿って職員一人ひとりが利用者と丁寧な関わりをすることで、来館者や参加者が急増している。また講習講座や自主活動事業等、子どもたちの声を形にするため、しっかりと聴くことで、よりニーズの高い講座の実施や自主活動の支援を行うことができた。 利用者の増加に伴い、現在の職員体制では、安全管理上、不安な面も多く、そのため多様な子どもたちのニーズに応えきれていない面がある。また施設のキャパシティ的に増加傾向にある来館者について、安全な受入体制を行うための人員配置の充実は喫緊の課題である。 講座等についてもニーズの高いものについては、定員の2倍・3倍になることも多く、抽選により参加できない申込者も多数出ている。	令和6年度の改善の取組　Action 4 ＜改善内容＞ 子どもたちの安全安心を第一に、これまで以上に意識をもって利用者・参加者の見守りを行う。地域をとりまく教育コミュニティを意識し、これまでも各地区の民生委員児童委員協議会等に御協力を得ていたが、保護者や学生ボランティア等への呼びかけを行うとともに人員の確保に向けて働きかける。 講座等についても可能な限りの定員の増加や、2部構成での実施等を検討し、できるだけ参加者の要望に応え、様々な知識を学べる場、体験できる場、生き方のモデルと出会える場を提供する。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 現状は今ある既存の施設の中でしか事業の拡充を望めないため、職員の青少年センターのあり方基本方針をベースに職員の共通理解や情報共有の徹底を行い、その中で子どもたちの安心をサポートする。あわせて、青少年センターBCPや運営管理マニュアル、安全計画等の見直しを定期的に行い安全を確保する。 また、講座についてもオンラインを活用し、参加できるものについても検討し、誰もが参加しやすい状況を構築していく。	備考

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1『ひと』を育てる・輝かせる

○ 施策　5 生涯学習・スポーツ・青少年健全育成

○ 主な取組　③ 青少年の健全育成

事務事業名	留守家庭児童会運営事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成、自立支援及び子育て支援を図る。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	生涯学習課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	5	6
ハード			細目	02－留守家庭児童会運営事業	
市単独		（関係法令・市条例・計画等）			
泉南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、泉南市留守家庭児童会実施要綱					

施策に関する成果指標

指標名	留守家庭児童会利用に関する総合的な満足度												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年度から アンケート実施予定
	目標	－	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0	%	
	実績	－											
	達成率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	－											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容（年次計画）Plan 1 （実績）Do 2	9小学校で10施設を開設し、464人の児童を受入れ、適切な遊び、生活環境を提供できた。 開所日数：293日 職員研修実績：資質向上研修2回等 認定資格研修所持率：72.7%（R5年度末時点） 避難訓練・不審者訓練の実施（年間2回） 施設修繕の実施、空調機器入れ替え等

事業の財源				
	17,618千円	国庫支出金	3,477千円
		府支出金	3,488千円
		市債	0千円
		その他	9,786千円
	決算書ページ	310ページ	一般財源	867千円

職員数/人件費					
	正職員	1.29人	正職員以外のその他職員	32.15人	106,674千円

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組 Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
			事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
	本事業は、コロナ禍を経て、利用する保護者にとって重要な社会資源であることが再認識された。今後も快適で安全・安心な保育環境を維持するため、施設の維持修繕や適切な人員数の確保・支援員の資質向上などに取り組む必要がある。また、障害児に対する対応をよりきめ細かく行なうことや、保育時における事故対応を適切かつ迅速に行えるように日頃からシミュレーションを行うことが必要である。	＜改善内容＞ ・待機児童が発生している児童会において、小学校内での新規クラブ開設のために調整・交渉等に取り組んでいく。 ・補助金を活用した新規の取組（防犯カメラ及び入退室管理システムの導入等）について、検討調整を行う。 ・資質向上研修は人権研修を含め3回実施し、支援員の資質向上に取り組む。 ・施設設備の適切な維持管理に努め、適切な規模の空調への取替工事や、外壁塗装等を実施する。	1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化（コストダウン） 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	児童と保護者にとってよりよい児童会であるため、運営の在り方を含め、抜本的な見直しを図る。 施設の適切な維持・管理に努め、義務教区学校再編計画に合わせて、施設の在り方の検討等を進める。 また、待機児童解消のための新規クラブ開設に向けて調整・交渉等を行っていく。 支援員の資質向上のため、継続して研修等を実施する。併せて、安全な運営の為の人員確保に努める。	

第6次泉南市総合計画　施策の概要

分野別政策	1	『ひと』を育てる・輝かせる	施策に関連するSDGs
施策	6	歴史・文化	

目指すまちの姿	歴史的・文化的な地域資源に親しみを持ち、郷土愛が育まれるまち
	歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

指標項目	基準値（R3）	目標値（R14）	備考
学習活動等に活用された文化財の件数	118件	150件	

進捗状況

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
目標	120	125	130	135	140	141	143	144	147	150	
実績	82.0										
達成率	68.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
達成度	B										

主な取組

①歴史的資産の活用

◇文化財や伝承の保存と活用、新たな地域資源の発掘や開発を行います。
◇地域の文化的財産に対する意識向上に向けた学習の場や、文化財・伝統芸能等を紹介・PRする機会を創出します。
◇小中学校園や埋蔵文化財センターを核とした人が集まれる仕組づくりや、子どもや家族向けの地域資源を活用したイベントを通じたPR活動を実施します。

②市民文化活動の充実

◇市民による自主的な文化活動に対する支援の充実を図ります。
◇広報紙やホームページ、SNS等を活用したPRによる自発的な文化活動への参加支援を行います。
◇多様な文化・芸術に触れる機会の創出や、市民ボランティアの育成等、市民の意見を取り入れた運営を実施します。

掲載事業一覧 【所幹部】

1-6-①　文化財保存活用事業 【教育部】

1-6-②　公民館運営事業 【教育部】

所管部局評価

【教育部】
取組①
文化財保存活用事業については、教育関係機関への出前授業など、地域の文化財に対する意識向上の機会を創出し、地域資源を活用した様々なイベントを実施することによって、埋蔵文化財センターを核とした人が集まる仕組づくりと地域の文化財に関するPR活動を推進することができた。また、歴史や文化財に関連するフィールドワークを行うことにより、歴史を学ぶ機会を創出し、文化財への興味を喚起する場の提供を行うことができた。ただし、将来に向けて地域の文化財保護を担ってゆく中心となるべき若年層や子育て世代への文化財に対する関心の少なさは大きな課題と認識しており、今後はこれらの世代への効果的なPR手法の検討に取り組んでいく。

取組②
公民館運営事業については、事務局としてクラブ協議会等団体の育成、支援を行い、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動成果発表の場を確保することで、自主的な文化・芸術活動を支援した。同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報誌やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。今後とも、講座等自主事業実施にあたっては、内容を精査し、市の各種計画に沿った市民ニーズの高いものを実施する。ただし、クラブ員の高齢化、コロナ禍後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退など、複数の課題が存在すると認識しているため、どのような支援が可能かを検討し、次年度以降取り組みを進めていく。

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策	1 『ひと』を育てる・輝かせる
○ 施策	6 歴史・文化
○ 主な取組	① 歴史的資産の活用

事務事業名	文化財保存活用事業	事業に関連するSDGs
＜事業概要＞ 歴史的・文化的な資源をいかして文化の質が高い地域づくりを行い、市民がふるさとや地域への愛着、誇り等、郷土愛を持てるまちづくりに取り組みます。		

事業区分		事務事業コード				
新規		担当課名	生涯学習課			
継続	○	予算	会計名	一般会計		
ソフト	○		款項目	9	5	10
ハード			細目	02-文化財保存活用事業		
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）				

施策に関する成果指標

指標名	学習活動等に活用された文化財の件数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
	目標	120	125	130	135	140	141	143	144	147	150	件	
	実績	82											
	達成率	68.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	B											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	・学校教育への協力、出張授業 ・市民による文化遺産（せんなんのたからもの）の活用 ・研究目的での文化財の資料観察 ・重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示 ・フィールドワークの実施 ・自宅で楽しめる体験学習キットの配布 ・文化財に関わる講座を実施 ・学校教育への協力、出張授業 :16件 ・市民による文化遺産（せんなんのたからもの）の活用:82点 ・研究目的での文化財の資料観察:2件 ・重要文化財海会寺跡出土品の常設展示及び企画展示:通年 ・フィールドワークの実施:3回 ・自宅で楽しめる体験学習キットの配布:12回 ・文化財に関わる講座を実施:3回			
事業の財源	決算額 6,080千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	36千円	
	決算書ページ 316ページ	一般財源	6,044千円	
職員数/人件費	正職員 2.00人	正職員以外のその他職員 2.00人	20,904千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和5年度は学校への出張授業を16回実施することにより、生徒への文化財についての興味を喚起することに努めた。またフィールドワークや文化財に関わる講座を実施することにより、市民に対して歴史に触れる機会の提供を行った。 今後も引き続き市民への歴史に対する興味喚起や、市内の文化財保護への意識を深める事業を進める必要がある。	令和6年度の改善の取組 Action 4 ＜改善内容＞ 市民による文化遺産の活用数においては、学校教育への協力、出張授業の件数が大きく反映することから、教育機関への働きかけにより、さらなる利用件数の増加に向けて取組を進める。またフィールドワークや講座の実施回数を増やすことにより、市民が歴史に触れる機会の場を増加させる。	令和7年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	備考
			1 現状維持 ○	市民が郷土の歴史に関心を持つことは、シビックプライドの醸成を促すものであり、郷土愛を育むことにるながると考えられる。今後も引き続き市民が歴史に興味を持ち、関心を抱くようなイベント等を開催する。	
			2 見直して継続		
			重点化		
			手段改善		
			効率化（コストダウン）		
			規模縮小		
			事業統合		
			3 休止・廃止		
			4 完了		

第6次泉南市総合計画　実施計画

○ 分野別政策　1 『ひと』を育てる・輝かせる　　再掲

○ 施策　6 歴史・文化

○ 主な取組　② 市民文化活動の充実

事務事業名	公民館運営事業	事業に関連するSDGs

＜事業概要＞
講座等自主事業実施、貸館事業、建物の維持管理業務、クラブ協議会等利用団体の育成、支援等を行うことで、多様で自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点を提供すると同時に、市民による自主的な文化・芸術活動の高揚を図る。

事業区分		事務事業コード			
新規		担当課名	文化振興課		
継続	○	予算	会計名	一般会計	
ソフト	○		款項目	9	5	8
ハード	○		細目	02-公民館運営事業	
市単独	○	（関係法令・市条例・計画等）			
社会教育法、泉南市公民館条例、泉南市教育大綱、教育振興基本計画					

施策に関する成果指標

指標名	公民館における文化・芸術活動の開催回数												備考
目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	・令和6年度3月末人口 58,527人 ・令和5年度利用者数 36,604人
	目標	6	6	7	7	8	8	9	10	10	10	回	
	実績	9											
	達成率	150.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	達成度	A											

令和5年度　事務事業実績

主な事業内容 （年次計画） Plan 1 （実績） Do 2	1. 年間利用者数 樽井（10,493人）・信達（9,291人）・新家（13,114人）・西信達（3,706人）：計36,604人 2. 年間利用件数 樽井（698件）・信達（1,006件）・新家（1,213件）・西信達（510件）：計3,427件 3. 登録クラブ数 樽井（16団体）・信達（35団体）・新家（33団体）・西信達（10団体）：計94団体 4. 公民館における文化活動、自主事業等の開催回数：9回 5. 自習室開設実績及び参加人数 夏期：7月21日～8月24日・開設日数：29日・利用者合計16人 春期：3月23日～4月7日・開設日数：14日・利用者合計4人 6. 消防避難訓練開催実績及び参加人数 樽井（6月24日：26人・12月10日：29人）・信達（6月25日：33人・12月10日：31人）・新家（7月2日：29人・12月9日：43人）・西信達（6月24日：17人・12月9日：43人）：計222人			
事業の財源	決算額 13,321千円	国庫支出金	0千円	
		府支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	2,616千円	
	決算書ページ 312ページ	一般財源	10,705千円	
職員数/人件費	正職員 3.04人	会計年度職員 任期付職員 3.96人	26,210千円	

令和７年度 実施計画
⇒令和７年第１回定例会予算説明資料として提出予定

評価　　方向性

令和5年度　事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
Check 3	・市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業の推進を行った。特に、樽井公民館において照明器具すべてをLED化を行う一方、その他については、予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕等を順次行った。また、国による新型コロナウイルス感染症の位置付けが、2類相当から5類移行に伴い、各部屋の定員制限等を完全に撤廃、撤去した。 ・クラブ登録等利用団体の育成、支援、公民館まつりをはじめとしたクラブ活動果発表の場、学習情報や学ぶ機会を提供した。特に、公民館まつりについては、コロナ禍以降、3館すべてで通常の形で開催することができ、自主的な文化・芸術活動を支援した。 ・同時に講座等自主事業実施にあたっては、広報紙やウェブサイト等利用可能な媒体を活用した広報活動により、文化・芸術活動の高揚を図った。 ・各公民館にあるクラブ連絡協議会等を事務局として支援、協力を行うことで、自主的な文化・芸術活動を支援した。一方、クラブ員の高齢化、コロナ禍後の会員減少、クラブ連絡協議会等からの脱退に対してどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する必要がある。	＜改善内容＞ ・クラブ員の高齢化、コロナ後の会員減少などにどのように対処し、事務局として支援の方策を研究する。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・事務局として公民館クラブ協議会等へのバックアップを行い、確実に公民館まつりを開催する。 ・公民館クラブ員の高齢化、部員や加盟団体減少に対して、クラブ協議会等の再構築検討を行う。 ・協議会等の現状況や問題点を整理し、規約改正をうながし、再活性化を行い、脱退したクラブに働きかけ、再加盟を促進する。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
			1 現状維持 ○	・引き続き、市内4公民館の良好な状態での施設・設備の維持管理、運営、貸館事業を推進する。 ・クラブ連絡協議会等を事務局として支援し、運営等が円滑に行われるよう取り組む。 ・魅力的な内容で、講座参加者を増やしていく方策の研究等を行う。 ・施設の在り方については、公共施設再編室と連携して、施設の複合化等の検討を深める。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			